

文学部専門科目

英語英米文学科

(授業科目名五十音順)

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
- 第2回:英語圏の国々の宗教の概要
- 第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
- 第4回:英語圏の国々の家族観の概要
- 第5回:英語圏の国々の家族観の討論
- 第6回:英語圏の国々の教育についての概要
- 第7回:英語圏の国々の教育についての討論
- 第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
- 第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
- 第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
- 第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
- 第12回:プレゼンテーションの準備
- 第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[教科書 (ISBN)] No textbook required 著者名:None 出版社:None</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S30161 [LEH3-003]

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。

[授業概要]

アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要
- 第2回:英語圏の国々の宗教の概要
- 第3回:英語圏の国々の宗教についての討論
- 第4回:英語圏の国々の家族観の概要
- 第5回:英語圏の国々の家族観の討論
- 第6回:英語圏の国々の教育についての概要
- 第7回:英語圏の国々の教育についての討論
- 第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要
- 第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論
- 第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要
- 第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての討論
- 第12回:プレゼンテーションの準備
- 第13回:プレゼンテーション発表会

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will submit assignments to manaba. The teacher will review the assignments and provide comments and suggestions. The students will be asked to read the comments, revise their assignments, and resubmit them through manaba. Presentations will be given written feedback from the teacher as well as student feedback.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[教科書 (ISBN)] Materials will be provided by the instructor. (none)</p> <p>[参考書 (ISBN)] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30162 [LEH3-003]

科目名	Advanced English Seminar I		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. ハリソン			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] 英国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日の状態に至っている歴史的経緯について文学作品や歴史書など多様な文献から読み取る。また、各国の代表的な文化的作品や社会を描いた作品の映像を鑑賞し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の歴史の概要 第2回:英語圏の国々の宗教の概要 第3回:英語圏の国々の宗教についての討論 第4回:英語圏の国々の家族観の概要 第5回:英語圏の国々の家族観の討論 第6回:英語圏の国々の教育についての概要 第7回:英語圏の国々の教育についての討論 第8回:英語圏の国々の文学作品についての概要 第9回:英語圏の国々の文学作品についての討論 第10回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要 第11回:英語圏の国々の人種に対する政策・考えについての概要 第12回:プレゼンテーションの準備 第13回:プレゼンテーション発表会</p>				

科目名	Advanced English Seminar I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[教科書 (ISBN)] No textbook required 著者名: None 出版社: None</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30163 [LEH3-003]

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を取り上げたり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えている自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要 第2回:英語圏の国々の健康問題 第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論 第4回:英語圏の国々の家族形態の概要 第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論 第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要 第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論 第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について) 第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について) 第10回:研究論文の論理展開と英語表現について 第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む) 第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出 第13回:プレゼンテーションの発表</p>			

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[教科書 (ISBN)] No textbook required 著者名:None 出版社:None</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 著者名:None 出版社:None</p>			

S30171 [LEH3-004]

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声を聞き取ったり、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] アメリカ合衆国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えている自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要 第2回:英語圏の国々の健康問題 第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論 第4回:英語圏の国々の家族形態の概要 第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論 第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要 第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論 第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について) 第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について) 第10回:研究論文の論理展開と英語表現について 第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む) 第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出 第13回:プレゼンテーションの発表</p>			

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will submit assignments to manaba. The teacher will review the assignments and provide comments and suggestions. The students will be asked to read the comments, revise their assignments, and resubmit them through manaba. Presentations will be given written feedback from the teacher as well as student feedback.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[教科書 (ISBN)] Materials will be provided by the instructor. (none)</p> <p>[参考書 (ISBN)] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30172 [LEH3-004]

科目名	Advanced English Seminar II		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. ハリソン			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英国等英語圏の社会や文化について、様々な文献を読んだり、映像教材の音声聞き取り、話題を決めて英語で意見を述べたりする活動を通して、自分の研究論文を英語で執筆することにより、英語の4技能の強化を目指す。</p> <p>[授業概要] 英国等英語圏の社会や文化に焦点を当て、様々な国が今日抱えている自然環境を含む地理的な問題、政治的な問題、健康問題、家族形態の変化、社会格差、教育問題などについて文献から読み取る。また、様々なドキュメンタリー映像等を視聴し、述べられている内容を聞き取る。学習した内容についてクラス内で議論を行い、自分の意見をまとめてプレゼンテーションを行う。これらの学習活動を通して得られた知見を研究論文として1,000語程度の英文を書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、英語圏の国々の地理・政治の概要 第2回:英語圏の国々の健康問題 第3回:英語圏の国々の地理・政治や健康に関する内容についての討論 第4回:英語圏の国々の家族形態の概要 第5回:英語圏の国々の家族形態についての討論 第6回:英語圏の国々の教育問題・社会格差の概要 第7回:英語圏の国々の教育問題・社会格差についての討論 第8回:研究論文のテーマ設定について(文化・文学分野のテーマ設定について) 第9回:研究論文のテーマ設定について(社会問題・自然環境分野のテーマ設定について) 第10回:研究論文の論理展開と英語表現について 第11回:研究論文執筆準備(担当教員との質疑応答を含む) 第12回:プレゼンテーションの準備、研究論文提出 第13回:プレゼンテーションの発表</p>				

科目名	Advanced English Seminar II	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)10%, 課題・クイズ 10%, プレゼンテーション 20%, ショート・エッセー 20%, 1,000語程度の研究論文 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students' written assignments will be posted on Manaba. The teacher will return these also on Manaba with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will also receive written comments after they give an oral presentation.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: essays, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: group work, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記, English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments, essays</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: English only discussions, presentations, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: essays</p> <p>[教科書 (ISBN)] No textbook required 著者名: None 出版社: None</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30173 [LEH3-004]

科目名	アメリカ文化研究	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカの文化について学び考える	演習	
担当者	坂元 敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

広大な国土を持ち、移民によって構成されたアメリカの歴史を学び、その文化や社会・文学作品等に特徴がどのように表れているかを理解する。アメリカの多様な文化について説明された資料や記述、映像等を読み鑑賞して考察することによって、異文化理解をめざす。

[授業概要]

アメリカは身近な国のように思われるが、様々な点で我々と異なる文化と社会のありようが見られる。この授業ではアメリカの風土や文化の多様性に焦点をあて、歴史上のできごとや活躍した人たちについて学びながら、こうしたできごとや人物を扱った文学作品や映画等を取りあげて議論する。多文化社会で生まれた人々の価値観がどのようにアメリカの社会・文化をつくっていったかという点について考察し、より正確なアメリカの理解を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題についてはじゅうぶんにリサーチし提出することが必要である。レポートについては字数・形式を守り、テーマに関するリサーチをじゅうぶん行うこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 第1回: アメリカ大陸の発見
- 第2回: 「ポカホンタス」とジェームスタウン
- 第3回: 「ポカホンタス」とジェームスタウン
- 第4回: 「独立宣言」を読む
- 第5回: 南北戦争と南部の文化
- 第6回: アメリカ人とベースボール
- 第7回: 地理的特徴や地方の特色から見るアメリカの国民性
- 第8回: アメリカ演劇とミュージカル
- 第9回: ウォルト・ディズニーとアメリカの夢
- 第10回: 平等を求める運動 Rosa Parks
- 第11回: 平等を求める運動 Martin Luther King
- 第12回: 多文化社会の観点から見るアメリカの国民性
- 第13回: まとめ

科目名	アメリカ文化研究	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカの文化について学び考える	演習	
担当者	坂元 敦子		

[成績評価方法]
 テスト(30%)、レポート(40%)、授業参加(発表や発言等(30%))

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

People and Culture in America 著者名: Tsutomu Akiba ほか 出版社: 英宝社 (978-4-269-19005-4)

[参考書(ISBN)]

科目名	イギリス文化研究	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス社会の現在:労働者階級、移民、子どもたちの教育	メディア(演習)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イギリス」が民族、宗教、言語の異なる国の連合王国であることを歴史的、地理的に把握する ・英国の成り立ちの歴史を知り、多民族社会における宗教、階級、移民、教育など多様な社会問題を知る。 ・「イギリス社会」のもつ階級制度を理解し、労働者階級の生活と問題点を知る。 ・さらに日本社会とイギリス社会を個別の問題を通して比較し、問題点をさぐる。 <p>[授業概要]</p> <p>【メディア授業】 本講義では、ロンドンの労働者階級の男性と結婚した博多出身の女性ブレイディみかこの保育士体験記を読んで行く。全38篇のなかから、毎回2篇を選び、学生にプレゼンしてもらい、1主題につき担当者2名、プレゼン・質疑・ディスカッションをセットとし、2セットをこなしていく。授業の後半では、母国を離れ日本で生活している外国人と交流することで、文化の多様性や異文化交流の意義を体験的に学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 上記の教材、映画意外にも、講義中にふれる小説や映画作品をどんどん読んだり、観たりして、視野を広げてください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 授業計画 (テキストで取り上げる項目は、学生の選択により異なります)</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回: 英国の正式名称The United Kingdom of Great Britain and Northern Irelandと歴史、「ロザリオ」 第2回: 「緊急託児所時代」ほか 第3回: 「オリバー・ツイストと市松人形」ほか 第4回: 「リトル・モンスターと地上の星々」、「天使を憐れむ歌」ほか 第5回: 「底辺託児所時代 2008-2010」ほか 第6回: 19世紀の子供たちの貧困を描いたディケンズを考える 第7回: 「コスプレと戦争と平和」ほか 第8回: 「託児所から見たブレグジット(英国のEU離脱)」ほか 第9回: BREXITを作家の手記から読む(Daphne Kapsali, Divided Kingdom) 第10回: 「人種と平等のもやもや——インクルージョン」 第11回: 神戸の外国人コミュニティ フィールドワーク 第12回: 「ロザリオ」「ゴム手袋のヨハネ」ほか 第13回: まとめ レポート提出 			

科目名	イギリス文化研究	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス社会の現在:労働者階級、移民、子どもたちの教育	メディア(演習)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] 最終レポート(60%)、プレゼン&ディスカッション(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『子どもたちの階級闘争 —ブローケン・ブリテンの無料託児所から』 著者名:ブレイディみかこ 出版社:みすず書房 (ISBN-10: 4622086034)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『オリヴァー・ツイスト』 著者名:ディケンズ 出版社:新潮文庫 ジョージ・エリオット『ミドルマーチ』 著者名:ジョージ・エリオット 出版社:光文社古典新訳文庫 (4334753922) ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 著者名:ブレイディみかこ 出版社:新潮社 (ISBN-10 : 4103526815)</p>			

科目名	English for Information Technology	前期	2 単位
サブタイトル	English for Information Technology	演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>In this class, students will learn about various topics of technology using English. Some of these topics include: Microsoft office (Microsoft Word, Power Point, Excel), email writing, and SNS. By the end of this class students will become more familiar about IT and able to talk about IT topics using English.</p> <p>[授業概要]</p> <p>In class students will learn about technology and use class time to familiarize themselves with computer technology. The class will be in English. As a result, students will both learn about IT, and learn about English terminology regarding IT.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Classroom attitude: 10%</p> <p>Assignments: 50%</p> <p>Midterm test: 20%</p> <p>Final test: 20%</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction / Syllabus 2. Microsoft word (1-1) 3. Microsoft word (1-2) 4. Microsoft Power point (1-2) 5. Microsoft Power point (2-2) 6. Microsoft Excel (1-1) 7. Microsoft Excel (1-2) 8. Midterm test / Email writing (1-1) 9. Email writing (1-2) 10. SNS (1-3) 11. SNS (2-3) 12. SNS (3-3) 13. Final test 			

科目名	English for Information Technology	前期	2 単位
サブタイトル	English for Information Technology	演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] 授業での取り組み(20%)、毎回の単語テスト(20%)、期末試験(60%) 毎回の単語テストは点数ではなく、取り組んだかどうかで評価します。 期末試験は、持ち込み不可で、授業で取り組んだ、単語テスト(得点で評価)と英作文のテストを行います。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験について、採点結果をmanabaで確認できるようにします。詳しくは、授業中に案内します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: assignments, group work, tests</p> <p>[教科書(ISBN)] Materials will be made by teacher 著者名: なし (なし)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力を身に付けます。より具体的には、本授業ではビジネス・シーンで必要とされる英語力の概要を習得します。

[授業概要]

ビジネスの場で必要な英語コミュニケーション能力を総合的に学びます。グローバル化の進む現代、卒業後の進路がどのようなものであれ、ビジネス英語の概要を学んでおくことは、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思えます。

使用テキストは、以下「授業計画」に示すように、ユニットごとにさまざまなビジネス・シーンを想定しています。基本的に、2回の授業で1ユニットずつ進むので、各自十分な準備をして授業に臨んでください。また覚えるべき重要表現を示すので、確実に覚えていきましょう。授業中はペアワーク・グループワークを多用するので、積極的な参加が肝要です。

e-learning については、今期で進捗率50%達成を目指しますが、それ以外にも随時到達目標を設定しますので、遅延なく進めましょう(e-learning については必須というよりも、加点要素として扱います)。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1. 次回授業の準備を十全にして授業に臨むこと。
 2. 指定された、覚えるべき表現を確実に覚えていくこと。
 3. TOEICの高スコアを目指し、e-learningによる学習に一定時間を費やすこと。
- 各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 授業の概要説明、Unit 1: Introductions (初対面の挨拶や仕事内容の説明)
2. Unit 2: Telephone Calls (電話の応答や伝言の受け方)
3. Unit 2: Telephone Calls (電話の応答や伝言の受け方)
4. Unit 3: Making an Inquiry (製品や価格に対する問い合わせ方法や対応)
5. Unit 3: Making an Inquiry (製品や価格に対する問い合わせ方法や対応)
6. Unit 4: Making an Appointment (約束の取り付けや変更に関する表現)
7. Unit 4: Making an Appointment (約束の取り付けや変更に関する表現)
8. Unit 5: Receiving a Visitor (受付での来客対応や空港での出迎え)
9. Unit 5: Receiving a Visitor (受付での来客対応や空港での出迎え)
10. Unit 6: Invitations (接客に役立つ表現やスモールトーク)
11. Unit 6: Invitations (接客に役立つ表現やスモールトーク)
12. Unit 7: Presentation 1 (プレゼンテーションを始める際の挨拶や概要説明等の表現)
13. まとめ

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		
<p>[成績評価方法] 試験 (40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] フィードバックは原則として授業内で行いますが、課題の性質によってはmanaba を通じて行うこともあります。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[教科書 (ISBN)] Successful Office English Student Book 著者名:Tae Kudo 出版社:Cengage (9784860000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインの英語/ツーリズムの英語	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力</p> <p>[授業概要] この授業ではエアラインやホテル、旅行代理店など旅に関連する職場で実際に使われている英語表現を学び、それを通して英語によるコミュニケーションの力をつけることを目標とする。扱う職種は客室乗務員や旅行代理店職員、ホテルスタッフ、通訳ガイドなど多岐にわたる。また旅行者として旅行を楽しめるように、あるいはビジネスの場でも実践的な英語表現を使用できるようになることを目指す。旅行に関する英語はTOEICでもしばしば出題されるので、TOEIC対策としても有効である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 課題をきちんと提出(または授業内で発表)すること。また、次回の授業範囲について、テキストやプリント等の予習をすること。各回、予習復習合わせて1時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 旅行に関連する仕事 3. May I help you? (旅行代理店) 4. One of my group members is sick. (ツアーコンダクター) 5. Are you checking in any luggage? (エアライン・グランドスタッフ) 6. Have a nice flight! (エアライン・グランドスタッフ) 7. We'll be taking off shortly. (エアライン・客室乗務員) 8. 確認テスト 9. 離陸前アナウンスとデモンストレーション(エアライン・客室乗務員) 10. We have a single room available.(ホテル・予約) 11. This is your key card.(ホテル・フロントデスク) 12. I recommend the tour to Nikko. (ホテル・コンシェルジュ) 13. まとめと確認テスト 			

科目名	English for Careers I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインの英語/ツーリズムの英語	演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] 試験 (40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でおこない、マナバも使用します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[教科書 (ISBN)] 授業中に指示します。 プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業で指示します。</p>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力を身に付けます。より具体的には、本授業ではビジネス・シーンで必要とされる英語力の概要を習得します。

[授業概要]

ビジネスの場で必要な英語コミュニケーション能力を総合的に学習します。グローバル化の進む現代、卒業後の進路がどのようなものであれ、ビジネス英語の概要を学んでおくことは、学生諸姉にとって将来必ず役に立つことと思います。

使用テキストは、以下「授業計画」に示すように、ユニットごとにさまざまなビジネス・シーンを想定しています。基本的に2回の授業で1ユニットずつ進むので、各自十分な準備をして授業に臨むこと。また覚えるべき重要表現を示すので、遅延なく覚えていくこと。授業中はペアワーク・グループワークを多用するので、積極的に参加することが肝要です。

e-learning については、今期で進捗率100%達成を目指しますが(後期のみ履修の場合は50%)、それ以外にも随時到達目標を設定するので、遅延なく進めていきましょう(e-learning については、必須要件というよりも加点要素として扱います)。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1. 次回授業の準備を十全にして授業に臨むこと。
 2. 指定された、覚えるべき表現を確実に覚えていくこと。
 3. TOEICの高スコアを目指し、e-learningによる学習に一定時間を費やすこと。
- 各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 授業の概要説明、Unit 8: Presentations 2 (プレゼンテーションで新製品を紹介する)
2. Unit 9: Presentations 3 (プレゼンテーションの締めくくりと質疑応答)
3. Unit 9: Presentations 3 (プレゼンテーションの締めくくりと質疑応答)
4. Unit 10: Online Meetings (ビデオ会議で役立つ表現)
5. Unit 10: Online Meetings (ビデオ会議で役立つ表現)
6. Unit 11: Negotiations (価格交渉および支払い条件の交渉と確認)
7. Unit 11: Negotiations (価格交渉および支払い条件の交渉と確認)
8. Unit 12: Placing an Order (商品の発注および発注内容の変更)
9. Unit 12: Placing an Order (商品の発注および発注内容の変更)
10. Unit 13: Making Complaint (トラブルの際のクレームのあげ方およびその対応)
11. Unit 13: Making Complaint (トラブルの際のクレームのあげ方およびその対応)
12. Unit 14: Completing a Project (プロジェクト完了時の確認および関係者への挨拶・謝意)
13. まとめ

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	ビジネス英語	演習	
担当者	山口 知子		
<p>[成績評価方法] 試験 (40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] フィードバックは原則として授業内に行いますが、課題の種類によってはmanaba を通じて行うこともあります。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[教科書 (ISBN)] Successful Office English 著者名:Tae Kudo 出版社:National Geographic Learning (978-4-86312-343-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力</p> <p>[授業概要] 【伊丹空港でのJAIR、JALSKY両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】</p> <p>この授業では日本と世界のエアラインに関する基礎知識を学び、それを通して異文化理解を深めることを目標とする。エアラインに関して扱う分野は幅広く、エアラインの歴史から運航について、機内および空港での仕事について、また世界各国の乗客への対応についてなどを含む。さまざまな文化的背景によってコミュニケーションに注意する点などは、異文化理解という観点からエアライン産業以外でも広く必要とされることがらである。日本航空勤務の講師が現場での経験、最新の情報を織り交ぜながら講義するとともに、テーマに応じ学生はグループに分かれディスカッションしその内容を発表する。 また、11月中旬の土曜日に伊丹空港において、空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。 なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする。 ※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回予習と復習をおこなうこと。また課題が出されるので、きちんと提出(または授業内で発表)すること。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 日本と世界の航空事情 3. フルサービスキャリア(FSC)① 事業計画 4. フルサービスキャリア(FSC)② マーケティング 5. ローコストキャリア(LCC) 6. 航空の安全 小テスト 7. 伊丹空港でのフィールドワーク(11月中旬の土曜日に実施予定) 8. 運航乗務員(パイロット)・客室乗務員(C/A) 9. 運航管理(オペレーション)と空港旅客業務(グランドスタッフ) 10. 航空機整備と貨物事業 11. 将来のエアラインビジネス 12. 13. まとめ 			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業で指示します。 プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] エアライン・マネジメント 戦略と実践 著者名:日本航空株式会社 出版社:インプレス (ISBN978-4-295-01505-5)</p>			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 実践的英語力、目指すキャリアで求められるコミュニケーション能力</p> <p>[授業概要] 【伊丹空港でのJAIR、JALSKY両社の見学と、客室乗務員やグランドスタッフの職務体験が含まれます】</p> <p>この授業では日本と世界のエアラインに関する基礎知識を学び、それを通して異文化理解を深めることを目標とする。エアラインに関して扱う分野は幅広く、エアラインの歴史から運航について、機内および空港での仕事について、また世界各国の乗客への対応についてなどを含む。さまざまな文化的背景によってコミュニケーションに注意する点などは、異文化理解という観点からエアライン産業以外でも広く必要とされることがらである。日本航空勤務の講師が現場での経験、最新の情報を織り交ぜながら講義するとともに、テーマに応じ学生はグループに分かれディスカッションしその内容を発表する。 また、11月中旬の土曜日に伊丹空港において、空港見学、客室乗務員の業務とグランドスタッフの業務を体験するフィールドワークを実施する。 なお、受講受け入れ数は30名として、31名を超える場合は抽選とする。 ※初回授業で抽選を行うため、受講希望者は必ず初回授業に出席すること。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回予習と復習をおこなうこと。また課題が出されるので、きちんと提出(または授業内で発表)すること。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 日本と世界の航空事情 3. フルサービスキャリア(FSC)① 事業計画 4. フルサービスキャリア(FSC)② マーケティング 5. ローコストキャリア(LCC) 6. 航空の安全 小テスト 7. 伊丹空港でのフィールドワーク(11月中旬の土曜日に実施予定) 8. 運航乗務員(パイロット)・客室乗務員(C/A) 9. 運航管理(オペレーション)と空港旅客業務(グランドスタッフ) 10. 航空機整備と貨物事業 11. 将来のエアラインビジネス 12. 将来のエアラインビジネス 13. まとめ 			

科目名	English for Careers II	後期	2 単位
サブタイトル	エアライン・ビジネス(伊丹空港へのフィールドワークあり)	演習	
担当者	遠山 忠輝		
<p>[成績評価方法] 試験(40%)、授業中の取り組み(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間内で全般的なフィードバックを実施するとともに、内容に応じ適宜manabaを通じてフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中のパフォーマンスおよび課題への取り組みや提出状況等によって評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業で指示します。 プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] エアライン・マネジメント 戦略と実践 著者名:日本航空株式会社 出版社:インプレス (ISBN978-4-295-01505-5)</p>			

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[授業概要]

This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. It teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.

Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. Introduction and syllabus preview, Unit 1 Paragraph to short essay- The paragraph
2. Unit 1 Unity and coherence
3. Unit 1 From paragraph to short essay (A part time job, or hobby)
4. Unit 1 Editing your writing
5. Unit 2 Descriptive Essays- Stimulating ideas
6. Unit 2 Brainstorming and outlining
7. Unit 2 Developing your ideas (A food you strongly like)
8. Unit 2 Editing your writing
9. Unit 3 Narrative Essays- Stimulating ideas
10. Unit 3 Brainstorming and outlining
11. Unit 3 Developing your ideas (An experience that changed you or taught you something important)
12. Unit 3 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Academic Writing 2 The Short Essay (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (9780000000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[授業概要]

This class looks to further develop students writing skills, while introducing them to academic styles of writing (ex. Descriptive essays). Activities will focus around writing essays, as well as journal writing and free writing for improvement in writing speed. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class session.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all the homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]

1. Introduction and syllabus preview, Unit 1 Paragraph to short essay- The paragraph
2. Unit 1 Unity and coherence
3. Unit 1 From paragraph to short essay (A part time job, or hobby)
4. Unit 1 Editing your writing
5. Unit 2 Descriptive Essays- Stimulating ideas
6. Unit 2 Brainstorming and outlining
7. Unit 2 Developing your ideas (A food you strongly like)
8. Unit 2 Editing your writing
9. Unit 3 Narrative Essays- Stimulating ideas
10. Unit 3 Brainstorming and outlining
11. Unit 3 Developing your ideas (An experience that changed you or taught you something important)
12. Unit 3 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Effective Academic Writing 2 The Short Essay (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer. 出版社: Oxford University Press. (9780000000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.</p> <p>[授業概要] * This class will provide students with skills necessary for effective academic writing. * Students will be given the opportunity to improve their reading and writing skills in a supportive classroom with a focus on moving from paragraphs to writing short essays of five different types. They will also develop vocabulary, reading comprehension, grammatical accuracy, correct spelling and punctuation, planning and editing skills. * Students will learn to write well-developed sentences, paragraphs and short essays while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English.</p> <p>* Students should use only English in class. Those who speak Japanese often will be penalized and receive a lower grade for the course. * Plagiarism will not be tolerated. * Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] Week 1: Class overview and introductions Week 2: Unit 1, "Paragraph to Short Essay. Writing:" Topic sentences; unity and coherence Week 3: Unit 1, "Paragraph to Short Essay. Writing:" Paragraph and essay organization Week 4: Unit 1, "Paragraph to Short Essay. Writing:" Short essay organization Week 5: Workshop class (peer review and trouble-shooting) Week 6: Unit 2, "Descriptive Essays. Culinary Arts and Nutrition:" Prepositional phrases; details in sentences Week 7: Unit 2, "Descriptive Essays. Culinary Arts and Nutrition:" Similes and simile structure Week 8: Unit 2, "Descriptive Essays. Culinary Arts and Nutrition:" Adjectives in descriptive writing Week 9: Workshop class (peer review and trouble-shooting) Week 10: Unit 3, "Narrative Essays. Psychology:" Sequence in narrative essays; subordinating conjunctions Week 11: Unit 3, "Narrative Essays. Psychology:" Details in essays; the past continuous tense Week 12: Unit 3, "Narrative Essays. Psychology:" Past time clauses; simultaneous activities Week 13: Summing up/ Workshop class (peer review and trouble-shooting)</p>			

科目名	Intermediate Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
<p>[成績評価方法] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback after first drafts.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Academic Writing 2 The Short Essay (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (9780194323475)</p> <p>[参考書(ISBN)] English-Japanese and Japanese-English dictionary 著者名: None 出版社: None</p>			

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>Students will be able to write extensively in English on a variety of social issues by the end of the course. Students will be better prepared for academic essay and dissertation writing.</p> <p>[授業概要]</p> <p>This course will provide students with the fundamental skills necessary for effective academic writing. It teaches the writing modes, rhetorical devices and language points required for academic success. The course guides the students through the writing process of gathering ideas, organizing an outline, drafting, revising and editing, with attention to grammatical accuracy, proper spelling and punctuation, and critical thinking skills.</p> <p>Students will learn to write well-developed paragraphs while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English. Students should use only English in class. Those who fail to comply will be penalized and receive a lower grade for the course. Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Students must complete assigned homework tasks. They should also prepare for tasks they have to do in class. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 4 Comparison- Contrast Essays- Stimulating Ideas 2. Unit 4 Brainstorming and outlining 3. Unit 4 Developing your ideas (An aspect of two places) 4. Unit 4 Editing your writing 5. Unit 5 Opinion Essays- Stimulating Ideas 6. Unit 5 Brainstorming and outlining 7. Unit 5 Developing your ideas (How a technology benefits or harms society) 8. Unit 5 Editing your writing 9. Unit 6 Cause-and-Effect Essays- Stimulating Ideas 10. Unit 6 Brainstorming and Outlining 11. Unit 6 Developing your ideas (How and why you or a person you know changed and grew over time) 12. Unit 6 Editing your writing 13. Final Assessment 			

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Academic Writing 2 – The Short Essay 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (978-0-19-430923-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[授業概要]

This class further introduces students to more academic writing styles. Students will be expected to write several short essays, as well as prepare a writer's portfolio. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class session.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all the homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]

1. Unit 4 Comparison- Contrast Essays- Stimulating Ideas
2. Unit 4 Brainstorming and outlining
3. Unit 4 Developing your ideas (An aspect of two places)
4. Unit 4 Editing your writing
5. Unit 5 Opinion Essays- Stimulating Ideas
6. Unit 5 Brainstorming and outlining
7. Unit 5 Developing your ideas (How a technology benefits or harms society)
8. Unit 5 Editing your writing
9. Unit 6 Cause-and-Effect Essays- Stimulating Ideas
10. Unit 6 Brainstorming and Outlining
11. Unit 6 Developing your ideas (How and why you or a person you know changed and grew over time)
12. Unit 6 Editing your writing
13. Final Assessment

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Academic Writing 2: The Short Essay (2006). 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-430923-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30112 [LEH2-004]

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

Students will be able to write clear and well-organized short essays in English on a variety of social issues by the end of the course.

[授業概要]

- * This class will provide students with skills necessary for effective academic writing.
- * Students will be given the opportunity to improve their reading and writing skills in a supportive classroom with a focus on moving from paragraphs to writing short essays of five different types. They will also develop vocabulary, reading comprehension, grammatical accuracy, correct spelling and punctuation, planning and editing skills.
- * Students will learn to write well-developed sentences, paragraphs and short essays while learning useful phrases and expressions used by native speakers of English.
- * Students should use only English in class. Those who speak Japanese often will be penalized and receive a lower grade for the course.
- * Plagiarism will not be tolerated.
- * Students should contact the instructor if they have any questions or concerns.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the notes and assignments from the previous week.

Complete all homework.

Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

Week 1: Semester one review/ Semester two overview

Week 2: Unit 4, "Comparison-Contrast Essays:" Essay organization; comparison and contrast connectors

Week 3: Unit 4, "Comparison-Contrast Essays:" Comparatives in comparison-contrast essays

Week 4: Unit 4, "Comparison-Contrast Essays:" Comparatives in sentences

Week 5: Workshop class (peer review and trouble-shooting)

Week 6: Unit 5, "Opinion Essays: Technology:" Opinion organization

Week 7: Unit 5, "Opinion Essays: Technology:" Facts and opinions

Week 8: Unit 5, "Opinion Essays: Technology:" Counterarguments and refutations

Week 9: Workshop class (peer review and trouble-shooting)

Week 10: Unit 6, "Cause and Effect Essays: Education and Economics:" Cause and effect organization

Week 11: Unit 6, "Cause and Effect Essays: Education and Economics:" Clustering information

Week 12: Review of essay-writing criteria/ Learning statements

Week 13: Summing up/ Workshop class (peer review and trouble-shooting)

科目名	Intermediate Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
<p>[成績評価方法] Participation 10%, Assignments (3) 60%, Final exam 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback after first drafts.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Academic Writing 2 – The Short Essay. 著者名: Alice Savage and Patricia Mayer 出版社: Oxford University Press (978-0-19-430923-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] English-Japanese and Japanese-English dictionary 著者名: None 出版社: None (00000)</p>			

科目名	エアライン英語 I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] ホスピタリティ関連企業を中心にして就職、就職後に役立つスキルを身につける。</p> <p>[授業概要] [メディア授業] エアラインやホテル、またそれ以外でも、ホスピタリティに関連する仕事を目指す人のために必要な指導をおこなう。入社のために必要な英語力や書類の作成準備、面接指導などをおこない、その後、仕事の現場で実際に使われる表現を学んで、スムーズなコミュニケーションができるようになることを目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 課題は締切を守り提出すること。メールでのやりとりも多いため、メール添付で提出・受け取り可能であること。各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第一回: イントロダクション 第二回: 自己紹介、自己分析 第三回: 書類作成、自己分析 第四回: 書類作成 第五回: 面接 第六回: 面接 第七回: 英語面接 第八回: グループ面接、 第九回: グループ面接、 第十回: グループワーク、ホスピタリティの現場で使う表現 第十一回: ホスピタリティの現場で使う表現 第十二回: 幅広い業種で必要な表現 第十三回: まとめ</p>			

科目名	エアライン英語 I	前期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 高卒対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] 課題(40%)、授業内での活動(40%)、発表(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で実施し、マナバも使用します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内で指示します。</p>			

S32310 [LEH3-027]

科目名	エアライン英語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 面接対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] ホスピタリティ関連企業を中心にして就職、就職後に役立つスキルを身につける。</p> <p>[授業概要] [メディア授業] エアラインやホテル、またそれ以外でも、ホスピタリティに関連する仕事を目指す人のために必要な指導をおこなう。入社のために必要な英語力や書類の作成準備、面接指導などをおこない、その後、仕事の現場で実際に使われる表現を学んで、スムーズなコミュニケーションができるようになることを目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 課題は締切を守り提出すること。メールでのやりとりも多いため、メール添付で提出・受け取り可能であること。各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第一回: イン트로ダクション 第二回: 自己紹介、自己分析 第三回: 書類作成、自己分析 第四回: 書類作成 第五回: 面接 第六回: 面接 第七回: 英語面接 第八回: グループ面接、 第九回: グループ面接、 第十回: グループワーク、ホスピタリティの現場で使う表現 第十一回: ホスピタリティの現場で使う表現 第十二回: 幅広い業種で必要な表現 第十三回: まとめ</p>			

科目名	エアライン英語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	エアラインやホテルほか、広くホスピタリティに関連する仕事にかかわる就職準備 高卒対策等	メディア(演習)	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] 課題(40%)、授業内での活動(40%)、発表(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で実施し、マナバも使用します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内で指示します。</p>			

S32320 [LEH3-028]

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の考え方を理解し、人間が母語を獲得できる理由や、英語の音声の仕組み・文法について理解し、さらにそれらについて分析できる能力の基礎を養う。ヒトのこころや知性の起源、人間の本性についても分析できるような広い視野を養う。</p> <p>[授業概要]</p> <p>(この授業は前期と後期に同じものが開講されています。都合のよい方の学期に履修してください。)</p> <p>「言語とは何か」という問いに対する一つの答えは、言語とは、意味と音声という異質の二物を、構造を介して結びつけるシステムのことであるというものです。この意味と音声を関係づける構造をヒトがどのようにして生成しているのかを詳しく調べることで、英語と日本語はどちらも人間の言語なのになぜこんなに違うのかということが理解でき、さらに探求を進めることで実際には両者の間にそれほど違いはないということが明らかになってきます。この授業では英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の基礎ならびに理論の変遷を学ぶことで、母語獲得のメカニズムや、英語の音声の仕組み、英語の文法について、高校までの英文法の授業では説明されてこなかった内容について理解することを目指します。身近な例を挙げながら、わかりやすく解説していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習4時間程度。 毎回の授業後にmanabaに公開する講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語と日本語の違い、言語生得説 2. ことばと科学、ことばの獲得 3. 英語の音声の仕組みと統語構造の関係、普遍文法 4. 語彙範疇と機能範疇、統語構造 5. X⁰理論 6. 文構造の再考 7. 意味役割、能動と受動、格 8. 数量詞と代名詞、PF表示とLF表示 9. コントロールと上昇 10. 非対格仮説、述語内主語仮説 11. 主要部移動、wh移動 12. ミニマリスト・プログラム、ラベル付けアルゴリズム 13. これまでの授業および試験に関する質疑応答、試験 			

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		

[成績評価方法]

授業への参加(コメントの記入、ディスカッションへの参加など) (60%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

コメントについては次回の授業で紹介し、試験については採点結果をmanabaで受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法: 授業への参加、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

[教科書(ISBN)]

『ベーシック生成文法』 著者名: 岸本秀樹 出版社: ひつじ書房 (978-4-89476-426-2)

[参考書(ISBN)]

『生成文法の考え方』 著者名: 北川善久・上山あゆみ 出版社: 研究社 (4327257028)

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の考え方を理解し、人間が母語を獲得できる理由や、英語の音声の仕組み・文法について理解し、さらにそれらについて分析できる能力の基礎を養う。ヒトのこころや知性の起源、人間の本性についても分析できるような広い視野を養う。

[授業概要]

(この授業は前期と後期に同じものが開講されています。都合のよい方の学期に履修してください。)
「言語とは何か」という問いに対する一つの答えは、言語とは、意味と音声という異質の二物を、構造を介して結びつけるシステムのことであるというものです。この意味と音声を関係づける構造をヒトがどのようにして生成しているのかを詳しく調べることで、英語と日本語はどちらも人間の言語なのになぜこんなに違うのかということが理解でき、さらに探求を進めることで実際には両者の間にそれほど違いはないということが明らかになってきます。この授業では英語学における主要な研究分野の一つである生成文法の基礎ならびに理論の変遷を学ぶことで、母語獲得のメカニズムや、英語の音声の仕組み、英語の文法について、高校までの英文法の授業では説明されてこなかった内容について理解することを目指します。身近な例を挙げながら、わかりやすく解説していきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。
毎回の授業後にmanabaに公開する講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。

[授業計画]

1. 英語と日本語の違い、言語生得説
2. ことばと科学、ことばの獲得
3. 英語の音声の仕組みと統語構造の関係、普遍文法
4. 語彙範疇と機能範疇、統語構造
5. X_{bar}理論
6. 文構造の再考
7. 意味役割、能動と受動、格
8. 数量詞と代名詞、PF表示とLF表示
9. コントロールと上昇
10. 非対格仮説、述語内主語仮説
11. 主要部移動、wh移動
12. ミニマリスト・プログラム、ラベル付けアルゴリズム
13. これまでの授業および試験に関する質疑応答、試験

科目名	英語学研究	前期	2 単位
サブタイトル	生成文法の考え方	講義	
担当者	本田 隆裕		

[成績評価方法]

授業への参加(コメントの記入、ディスカッションへの参加など) (60%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

コメントについては次回の授業で紹介し、試験については採点結果をmanabaで受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。

成績評価方法: 試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法: 授業への参加、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 授業への参加、試験

[教科書(ISBN)]

『ベーシック生成文法』 著者名: 岸本秀樹 出版社: ひつじ書房 (978-4-89476-426-2)

[参考書(ISBN)]

『生成文法の考え方』 著者名: 北川善久・上山あゆみ 出版社: 研究社 (4327257028)

科目名	英語学特殊講義 I	前期	2 単位
サブタイトル	英文法への理解を深める	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校文法とは異なる視点で英語の文法を観察し、英語話者がもつ英文法の感覚を学ぶ。 ・さまざまな構文の文例に幅広く触れ、各構文の形式的・意味的な特徴について学ぶ。 ・さまざまな文例をもとに、どのような文法規則があるのかを分析する。 <p>[授業概要]</p> <p>英語学習者が文法につまずくことは多い。その理由の一つには、文法書などで紹介される多種多様な構文の規則の複雑さと、それらの形式や規則に理由があることが見出せないことが挙げられる。この授業では、英語のさまざまな構文を取り上げ、それらの構文の形式的特徴だけでなく、構文がもつ意味にも注目し、英語の基本構造への理解を深める。また、各構文の文例に幅広く触れ、なぜその構文がこのような形式になっているのか、なぜこのような意味が生まれるのかを読み解くことで、言語データを分析する手法も学ぶ。</p> <p>授業は主に配布資料を用いた解説によって進められる。適宜、トピックに関連する問題に個人またはグループで取り組み、解答を発表する。各回で学んだ内容の理解度を確認するために、授業終了後には課題に取り組み、また、次の回の授業の冒頭で小テストを実施する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習: 次回授業で扱う文法事項をあらかじめ自分で調べる。本田・田中・畠山(2020)『英文の基本構造』をあらかじめ読んでおくことが望ましい。</p> <p>復習: 毎回の授業後に講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。</p> <p>※各回、予習復習を合わせて4時間程度を目安とする。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに: 英語の基本文について 2. 基本文の構造(1): リンキング動詞を含む文/自動詞を含む文 3. 基本文の構造(2): 目的語を1つとる文 4. 基本文の構造(3): 二重目的語構文と与格構文 5. 疑問文の形式と意味 6. 否定疑問文と付加疑問文 7. 情報構造と構文 8. 受動文の形式と意味 9. 修飾関係と述語関係(1): 限定用法と叙述用法 10. 修飾関係と述語関係(2): 目的語の状態に言及する文/結果構文 11. 否定文の形式と意味 12. 後半のまとめ: 英文の基本パターン 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学特殊講義 I	前期	2 単位
サブタイトル	英文法への理解を深める	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等): 30% ・授業内や授業後に提出する課題: 30% ・最終試験: 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示し、希望に応じて答案を返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>英文の基本構造 著者名: 本田謙介・田中江扶・島山雄二 出版社: 朝倉書店 (978-4-254-51674-6)</p>			

科目名	英語学特殊講義Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	似た意味をもつ2種類の文とその違い	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの事象に対して複数の表現方法があることを理解する。 ・それらの複数の表現方法が、それぞれ異なったニュアンスや異なった文法ルールをもつことを具体的に説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>同じ事象に対して複数の表現方法が存在することは多くある。たとえば、He gave her a present.(二重目的語構文)とHe gave a present to her.(与格構文)や、The cat chased the mouse.(能動文)とThe mouse was chased by the cat.(受動文)は互いに言い換え可能だと言われる。本授業では、このように言い換え可能な表現が実際には異なるニュアンスを持つことや、言い換えができる場合とできない場合があることに注目して、さまざまな構文のもつ意味や文法規則を考察する。</p> <p>各回の授業は主に配布資料を用いた解説によって進められる。適宜、トピックに関連する問題に個人またはグループで取り組み、解答を発表する。各回で学んだ内容の理解度を確認するために、授業終了後には記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習: 次回授業で扱う文法事項をあらかじめ自分で調べる。岸本・岡田(2020)『構文間の交替現象』を読んでおくことが望ましい。</p> <p>復習: 毎回の授業後に講義資料等で既習事項を復習しながら、次の授業に臨むこと。</p> <p>※各回、予習復習を合わせて4時間程度を目安とする。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに: 言い換え可能な表現例について 2. 自他交替 3. 他動詞文における目的語の省略 4. 二重目的語構文と与格構文 5. 特定の意味を持つ動詞における言い換え表現 6. 能動文と受動文 7. 中間まとめ 8. 句動詞を用いた文 9. 存在文 10. 前置文・倒置文 11. 後置文・外置文 12. 分裂文 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学特殊講義Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	似た意味をもつ2種類の文とその違い	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み: 30% ・授業内や授業後に提出する課題: 30% ・最終試験: 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 試験: 模範解答と解説をmanabaで提示し、希望に応じて答案を返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>構文間の交替現象 著者名: 岸本秀樹、岡田禎之 出版社: 朝倉書店 (978-4-254-51675-3) A Comprehensive Grammar of the English Language 著者名: Randolph Quirkほか 出版社: Longman (978-0582517349) The Cambridge Grammar of the English Language 著者名: Rodney Huddleston and Geoffrey K. Pullum 出版社: Cambridge University Press (978-0521431460)</p>			

科目名	英語学入門 I		前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する		講義	
担当者	吉本 真由美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。 2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。 3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。 4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。 予習: 参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。 ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションおよび言語の起源について 2. 言語研究の諸分野とその研究方法 3. 英語の歴史 4. 英語の発音とスペリング 5. 英語の語彙の多様性 6. 標準英語の成立 7. 英語の方言と多様性 8. 英語の発音のしくみ 9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音 10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム 11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類 12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 				

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等): 30% ・授業内や授業後に提出する課題: 30% ・最終試験: 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社, 2014年. (978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版, 2013年. (978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会, 2015年. (978-4766422139) 英語の音声を科学する(新装版) 著者名:川越いつえ 出版社:大修館書店, 2007年. (978-4469245318)</p>			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。 2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。 3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。 4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。 予習: 参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。 ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションおよび言語の起源について 2. 言語研究の諸分野とその研究方法 3. 英語の歴史 4. 英語の発音とスペリング 5. 英語の語彙の多様性 6. 標準英語の成立 7. 英語の方言と多様性 8. 英語の発音のしくみ 9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音 10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム 11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類 12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等): 30% ・授業内や授業後に提出する課題: 30% ・最終試験: 40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社, 2014年. (978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版, 2013年. (978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会, 2015年. (978-4766422139) 英語の音声を科学する(新装版) 著者名:川越いつえ 出版社:大修館書店, 2007年. (978-4469245318)</p>			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の文構造を正しく分析できる。 2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。 3. 会話における意味解釈において、コンテキストがどのように関わっているかを分析できる。 4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。 5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語(主に日本語)と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテキストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。 予習: 事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。 ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析) 2. 文構造の分析 3. メタファーとメトニミー 4. 法助動詞と主観性 5. 明意と暗意 6. 会話におけるルール 7. まとまりのある文章 8. 新情報と旧情報 9. 異文化間におけるコミュニケーション 10. ことばと文化 11. ことばと社会(1): 地域変種と社会変種 12. ことばと社会(2): ピジンとクレオール 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30% ・授業内や授業後に提出する課題:30% ・最終試験:40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年。(978-4766422139)</p>			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の文構造を正しく分析できる。 2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。 3. 会話における意味解釈において、コンテキストがどのように関わっているかを分析できる。 4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。 5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語(主に日本語)と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテキストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。 予習: 事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。 ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析) 2. 文構造の分析 3. メタファーとメトニミー 4. 法助動詞と主観性 5. 明意と暗意 6. 会話におけるルール 7. まとまりのある文章 8. 新情報と旧情報 9. 異文化間におけるコミュニケーション 10. ことばと文化 11. ことばと社会(1): 地域変種と社会変種 12. ことばと社会(2): ピンジンとクレオール 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30% ・授業内や授業後に提出する課題:30% ・最終試験:40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年。(978-4766422139)</p>			

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

伝統的教授法の問題点を理解し、これからの英語教育に何が必要かを理解する。また、学習指導要領における外国語教育の目標と指導内容について学ぶ。これらの学習を通して、課題意識を持って授業を組み立てる態度を養う。

[授業概要]

これまで行われてきた日本の英語教育のどこが問題なのかということについて理解を深めていく。まず、今までの知識・経験だけで短時間の模擬授業を行い、自分が持っている英語教育観を見つめ直す。その後、4技能(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」)のそれぞれの指導の注意点と中学校及び高等学校の学習指導要領における外国語教育の目標・指導内容を確認する。さらに、テキストに沿って伝統的教授法の問題点を講義とディスカッションを通して理解し、それに代わる指導法を学ぶ。これらの学習と授業担当教員による実演の体験後、もう一度、模擬授業を計画・実施することにより、目指す授業像を確立する。2回目の模擬授業では、4技能のうち、グループごとに各技能に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、授業実践及び授業観察により、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。

テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]

1. 英語教員の役割、英語教育観と第二言語習得研究、模擬授業(1)の準備
2. 模擬授業(1)
3. 模擬授業の(1)と自分の英語教育観の振り返り、4技能の指導の注意点、学習指導要領(中学校・高等学校外国語科の目標と指導内容)
4. 伝統的教授法の問題点とコミュニケーション言語教授法
5. タスク中心教授法の理論的背景とその課題
6. 英語の音声指導・文字指導、英語の語彙・表現・文法の指導
7. 小テスト、指導法のワークショップ、
8. 授業の構成、指導手順、指導案の書き方
9. これまでの復習と模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ)
13. 模擬授業(2)の反省、まとめ

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			

S31040 [LEH2-014]

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>「フォーカス・オン・フォーム」による指導法を理解する。また、学習指導要領の3つの資質・能力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)とともに、評価の在り方及び授業の指導計画について理解し、実際に授業を担当できる能力の基礎を築く。</p> <p>[授業概要]</p> <p>近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習指導要領の3つの資質・能力を育むための授業、教科用図書に基づく指導 2. 小学校学習指導要領(外国語活動・外国語科)、小中高を通じた英語教育の在り方 3. 言語習得の3要素とフォーカス・オン・フォーム、5つの領域の指導、領域統合型の授業映像視聴 4. 異文化理解、英語でのインタラクション、フォーカス・オン・フォームに基づいた授業映像の視聴、ALTとのチーム・ティーチングに関する授業映像視聴 5. 学習到達目標に基づく授業づくりと評価の在り方、考查問題の作成方法、教材・ICTの活用、生徒の特性・習熟度に応じた授業づくり、模擬授業(1)の準備 6. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第1グループ) 7. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第2グループ) 8. 模擬授業(1)の反省と指導法のワークショップ(授業担当教員による実演) 9. 小テスト、模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ 			

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			

S31050 [LEH2-015]

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 英語指導法の一つであるIntake Readingを学ぶとともに、英語の教科用図書の活用方法を学習する。また、教材やICTの活用方法、英語による授業展開やALTとのチーム・ティーチングの方法についての理解を踏まえた5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導と領域統合型の言語活動の指導についての知識・技能を身に付ける。</p> <p>[授業概要] まず、学習指導要領に基づく5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導について英語科指導法Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を再度確認し、複数の領域を統合した言語活動について理解を深める。次に、生徒の間違った英文産出を減らすことができる、齋藤(2011)で提案されたIntake Readingという指導法を学び、加えて、英語の教科用図書(教科書)の活用方法について学習する。また、英語の音声、文字、語彙・表現の指導についても授業映像の視聴等を通して実践方法を学ぶ。さらに、プレゼンテーションソフトウェアや音声編集ソフトウェア等のICTを活用した視聴覚教材の導入を体験し、英語でのインタラクション、ALTとのチーム・ティーチングの方法についてもさらなる知識と技能を身に付ける。模擬授業では、これまで学習した指導法を踏まえた5つの領域の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現の指導も含む)を実施することで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 学習指導要領と検定教科書、領域統合型の言語活動の指導 2. Intake Readingの事前指導と実践方法、教科書の活用、Intake Readingを取り入れた授業とワークショップ、英語の語彙・表現に関する授業映像視聴 3. 教材研究とICTの活用、領域統合型の授業映像視聴、教室英語、英語でのインタラクション、チーム・ティーチング等の効果的な活用 4. 小テスト、模擬授業(1)の準備 5. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ) 6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ) 7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ) 8. 模擬授業(1)の反省とIntake Readingの応用 9. 模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ(面接授業)</p>			

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 『生徒の間違いを減らす英語指導法 インテイク・リーディングのすすめ』 著者名:齋藤榮二 出版社:三省堂 (978-4-385-36559-6) 中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051695) 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051784)</p>			

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

第二言語習得研究に基づき、小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方を理解する。個に応じた指導や異文化理解に関する指導について、さらなる知識と技能を身に付ける。また、英語教育に関して自ら研究を進められる能力を養う。

[授業概要]

第二言語習得研究に基づいた小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方について学習する。また、異文化理解に関する内容を授業に取り入れる方法や生徒の特性や習熟度に基づく指導方法についても理解を深める。さらに、学校文法だけでなく科学文法についても学習し、文法指導について理解するとともに、英語教育について自ら研究できる能力の基礎を築く。模擬授業では、5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現、文法の指導や異文化理解に関する指導も含む)を取り入れ、さらに具体的な生徒像も想定した上で授業計画を立てることで、英語の指導法について総括する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。

テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]

1. 第二言語習得と英語教育、SLA研究と小学校英語教育
2. 中学校英語教育・高校英語教育の今後、自律した学習者を育てる方法(大学生、社会人の英語教育)、異文化理解に関する授業映像の視聴
3. 生徒の特性や習熟度に基づく指導方法とワークショップ(担当教員による実演)
4. 学校文法と生成文法、文法の指導方法、外国語教育学の研究手法
5. 小テスト、模擬授業(1)の準備
6. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第1グループ)
7. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第2グループ)
8. 模擬授業(1)(全体を1/3に分けた第3グループ)
9. 模擬授業(1)の反省と模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ)
13. 模擬授業(2)の反省、まとめ

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:(開隆堂出版)(4304051695)</p>			

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ小説・戯曲を読み、作品中に使用されるさまざまな英語表現を学ぶとともに英語の読解力をつける。
英語で外国文学作品を味わう方法を学ぶ。
アメリカ文学作品と時代背景、またアメリカの社会・文化について理解する。
作品の朗読や台詞の発表を通して、コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。

[授業概要]

【メディア授業】

この授業では、代表的なアメリカ文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「アメリカらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代やアメリカの社会・文化に焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、自然な英語やコミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題とした文学作品を次の授業までに読み、発表する。辞書を使用してテキストを細かく読み、理解してから授業に臨むこと。また、レポートは字数や形式を守り、作品に関するリサーチをじゅうぶん行うこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

- 第1回: イントロダクション
- 第2回: 小説と戯曲、アメリカ文学史概観
- 第3回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウインクル』を読む
- 第4回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウインクル』の時代背景と社会
- 第5回: オルコット『若草物語』を読む
- 第6回: オルコット『若草物語』と南北戦争
- 第7回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む
- 第8回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』と20年代
- 第9回: フォークナー『響きと怒り』を読む
- 第10回: フォークナー『響きと怒り』とアメリカ南部
- 第11回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』を読む
- 第12回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』とアメリカの家族
- 第13回: まとめ

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] テスト(30%)、課題(40%)、授業参加(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でおこない、マナバも使用します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布 著者名:</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			

S32200 [LEH3-025]

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翻訳を通して原作を読み、物語の力を感じる。 ・原作の英文も一部読むので、時代や作者によって変わる英語の文体の違いを知る。 ・イギリスやアイルランドの文学作品とその時代背景、社会や文化について理解する。 ・文学作品を読み、そのなかから問題を探し、調べ、考え、表現する。 <p>[授業概要]</p> <p>【メディア授業】</p> <p>この授業では、イギリスやアイルランドの代表的な文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「イギリスらしさ・アイルランドらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代や社会・文化にも焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、コミュニケーションの道具を超えた言語表現に触れる。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>図書館やインターネットを使用して、講義関連内容の情報を収集し、興味のある文献を読んでおく。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回 イン트로ダクション 第2回 小説と戯曲、イギリスとアイルランド文学史概観 第3回 スウィフト『ガリバー旅行記』を読む:18世紀の旅行記文学 第4回 スウィフト『ガリバー旅行記』:「憤怒」の人スウィフトと、フーイヌムの悲しみ 第5回:ディケンズ『オリバー・ツイスト』を読む 第6回:ディケンズ『オリバー・ツイスト』:階級社会 第7回:ハーディ『ダーバヴィル家のテス』を読む 第8回:ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』:意識の流れ 第9回:ジョイス『ダブリン市民』を読む ポスト植民地文学 第10回:ジョイス『ダブリン市民』:意識の流れ 第11回:ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む: 世界に放り出された人間 第12回:ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む 戦争の記憶 第13回:まとめ</p>			

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] 音読テスト20% (発音、アクセント、イントネーション、強弱、間など)、最終レポート80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『ゴドーを待ちながら』 著者名: サミュエル・ベケット 出版社: 白水社 (ISBN-10: 4560071837)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『ベケット大全』 著者名: 高橋康也監修 出版社: 白水社 (ISBN-10: 4560046662) 『ガリヴァー旅行記』を読む 著者名: 富山太佳夫 出版社: 岩波書店 (ISBN-10: 4000042491) 二十世紀「英国」小説の展開 著者名: 高橋和久・丹治愛編著 出版社: 松柏社 (978-4-7754-0269-6) 『ガリヴァー旅行記』 著者名: スウィフト (高山宏訳) 出版社: 研究社 (4327180521) エイツとジョイスの時代のダブリン 著者名: リチャード・ケイン 出版社: 小島遊書房 (978-4-909812-37-7)</p>			

S32210 [LEH3-026]

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時代において英語に変化をもたらした社会・文化的要因について理解する。(外面史の理解) ・現代英語が示す様々な文法的特異性を歴史的变化の観点から理解する。(内面史の理解) <p>[授業概要]</p> <p>英語という言葉が歴史上辿ってきた変化について、各時代背景を踏まえつつ、他言語との接触・文字と音声・語形・統語法の観点から講義する。英語を取り巻く状況の変化の歴史(外面史)と英語そのものに生じた変化(内面史)の2つの観点を行き来しながら話を進める。特に内面史においては、各時代に英語に生じた変化が現代英語のどのような特徴に繋がっているかという観点を重視しながら解説していく。</p> <p>資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習: 次回授業までに参考書に挙げている寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。 ・復習: 授業で配布した資料を読み返しておくこと。 ・「英語学入門 I」「英語学入門 II」をすでに履修していることが望ましい。 <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに(英語の外面史と内面史、現代英語の謎) 2. 英語のルーツ(1): 語族と印欧祖語 3. 英語のルーツ(2): 印欧祖語からゲルマン祖語へ 4. 古英語期から中英語期の時代背景 5. 英語と外国語の接触(1): 古英語期 6. 英語と外国語の接触(2): ノルマン征服以降 7. ローマン・アルファベットの歴史 8. 文字と音声(1): 古英語～中英語 9. 文字と音声(2): 大母音推移 10. 語形(1): 古英語の豊富な屈折 11. 語形(2): 屈折の平板化、消失 12. 格・語順・一致からみた英語の文法変化 13. 講義の総まとめ 			

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		

[成績評価方法]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。
試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法: 授業内課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 授業内課題、試験

[教科書 (ISBN)]

なし

[参考書 (ISBN)]

『英語の歴史—過去から未来への物語—』 著者名: 寺澤盾 出版社: 中公新書, 2008年. (9784120000000)

『英語の歴史』(テイクオフ英語学シリーズ①) 著者名: 松浪有(編) 出版社: 大修館書店, 1996年. (978-4469141351)

The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition. 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press. (2018) (9781110000000)

科目名	英語史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時代の英語の特徴を、実際のテキストを通して理解する。 ・英語の文法の成立過程について基礎的な事項を理解する。 ・時代や地域による英語のバリエーションを知る。 <p>[授業概要]</p> <p>以下の3つのテーマに沿って講義を進める。</p> <p>(1) 英語の特徴の変遷(古英語期から初期近代英語期まで):各時代の代表的なテキストを取り上げ、その言語的特徴を時代背景も含めながら解説する。</p> <p>(2) 統語法の歴史(否定辞not、助動詞do、法助動詞の発達):主に語順の固定化という要因を中心に、3つの文法現象の変化の過程について説明する。</p> <p>(3) 英語の変種について(アメリカ、オーストラリア):それぞれの国に英語がもたらされた歴史を踏まえながらそれぞれの英語の変種の特徴を概観する。</p> <p>※資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>※「英語史Ⅰ」の履修は前提としないが、参考書の寺澤(2008)を読んでおくことを推奨する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習:次回授業までに参考書に挙げている宇賀治(2000)や寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。 ・復習:授業で配布した資料を読み返しておくこと。 ・「英語史Ⅰ」や「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」をすでに履修していることが望ましい。 <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに(「英語史Ⅰ」のダイジェスト) 2. 古英語の語形成(複合語、派生、品詞転換、屈折) 3. 古英詩の特徴:『ベオウルフ』 4. 中英語の特徴:『カンタベリー物語』 5. 初期近代英語期(1):シェイクスピアの英語 6. 初期近代英語期(2):欽定訳聖書の英語 7. 統語法の変化(1):否定辞notの歴史 8. 統語法の変化(2):助動詞do(前編) 9. 統語法の変化(3):助動詞do(後編) 10. 統語法の変化(4):法助動詞のサイクル 11. 英語の変種(1):アメリカ英語 vs. イギリス英語 12. 英語の変種(2):オーストラリア英語 13. 講義の総まとめ 			

科目名	英語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		

[成績評価方法]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

※授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。
 ※試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
 成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
 成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
 成績評価方法: 授業内課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
 成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法: 授業内課題、試験

[教科書 (ISBN)]

なし

[参考書 (ISBN)]

『英語史』(現代の英語学シリーズ⑧) 著者名: 宇賀治正朋 出版社: 開拓社, 2000年. (978-4758902182)
 The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press.
 (2018) (9780000000000)
 『英語の歴史—過去から未来への物語』 著者名: 寺沢盾 出版社: 中公新書, 2008年. (978-4121019714)

科目名	英語文法論A	後期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校までに学習してきた現代英語の基本文構造や文法・語法に関する理解を深める。 2. 英文法・語法の知識を駆使して英文を正確に解釈できるようになる。 3. 英文法・語法の知識を駆使して文脈に合った適切な英語表現ができるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>本授業の主たる目的は、高校までに学習してきた英語の基本的な文構造や英文法・語法の重要な項目を見直し、その理解を深めることである。英文解釈・和文英訳の実践演習を通して、特に日本人英語学習者が苦手意識を抱く英文法・語法に対する誤解を解き、適切な英語運用の達成を目指す。講義では日本語との比較対照も取り入れて英語との違いや共通点を明らかにし、英語だけでなく日本語への理解も深められるようにする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の英文を読み、辞書を引いて単語・熟語の意味を確認しておく。 教科書の文法・語法に関する解説ページを熟読し、その内容を把握しておく。 板書や講義メモ、課題の答え合わせで気になった点を整理し、適宜調べたり質問したりする。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、Unit 1: 名詞の誤り 2. Unit 2: 冠詞の誤り 3. Unit 3: 動詞の誤り(1) 4. Unit 4: 動詞の誤り(2) 5. Unit 5: 時制の誤り 6. Unit 6: <動詞+名詞>の誤り 7. Unit 7: 準動詞の誤り 8. Unit 8: 形容詞の誤り 9. Unit 9: 副詞の誤り、Unit 10: 比較の誤り 10. Unit 11: 関係詞の誤り 11. Unit 12: 接続詞の誤り、Unit 13: 前置詞の誤り 12. Unit 14: 主語の選択・語順・態・否定などの誤り 13. まとめ 			

科目名	英語文法論A	後期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
<p>[成績評価方法] 課題 (30%)、理解度確認試験 (70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>[教科書 (ISBN)] Common Errors in English Writing -- New Edition 著者名: 木塚晴夫、Roger Northridge 出版社: 音羽書房鶴見書店 (978-4-7553-0052-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] ジーニアス総合英語(第2版) 著者名: 中邑光男、山岡憲史、柏野健次 編集主幹 出版社: 大修館書店 (978-4-469-34315-1) 英文法解説(改訂3版) 著者名: 江川泰一郎 出版社: 金子書房 (978-4-7608-2009-2)</p>			

S30070 [LEH1-009]

科目名	英語文法論B	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校までに学習してきた現代英語の基本文構造や文法・語法に関する理解を深める。 2. 英文法・語法の知識を駆使して英文を正確に解釈できるようになる。 3. 英文法・語法の知識を駆使して文脈に合った適切な英語表現ができるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>本授業の主たる目的は、高校までに学習してきた英語の基本的な文構造や英文法・語法の重要な項目を見直し、その理解を深めることである。英文解釈・和文英訳の実践演習を通して、特に日本人英語学習者が苦手意識を抱く英文法・語法に対する誤解を解き、適切な英語運用の達成を目指す。講義では日本語との比較対照も取り入れて英語との違いや共通点を明らかにし、英語だけでなく日本語への理解も深められるようにする。□</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の英文を読み、辞書を引いて単語・熟語の意味を確認しておく。 教科書の文法・語法に関する解説ページを熟読し、その内容を把握しておく。 板書や講義メモ、課題の答え合わせで気になった点を整理し、適宜調べたり質問したりする。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、Unit 1: 名詞の誤り 2. Unit 2: 冠詞の誤り 3. Unit 3: 動詞の誤り(1) 4. Unit 4: 動詞の誤り(2) 5. Unit 5: 時制の誤り 6. Unit 6: <動詞+名詞>の誤り 7. Unit 7: 準動詞の誤り 8. Unit 8: 形容詞の誤り 9. Unit 9: 副詞の誤り、Unit 10: 比較の誤り 10. Unit 11: 関係詞の誤り 11. Unit 12: 接続詞の誤り、Unit 13: 前置詞の誤り 12. Unit 14: 主語の選択・語順・態・否定などの誤り 13. まとめ 			

科目名	英語文法論B	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英文法実習・講義	講義	
担当者	大井 良友		
<p>[成績評価方法] 課題 (30%)、理解度確認試験 (70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題等のフィードバックは manaba や授業内での解説を通して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 課題、理解度確認試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 理解度確認試験</p> <p>[教科書 (ISBN)] Common Errors in English Writing -- New Edition 著者名: 木塚晴夫、Roger Northridge 出版社: 音羽書房鶴見書店 (978-4-7553-0052-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] ジーニアス総合英語(第2版) 著者名: 中邑光男、山岡憲史、柏野健次 編集主幹 出版社: 大修館書店 (978-4-469-34315-1) 英文法解説(改訂3版) 著者名: 江川泰一郎 出版社: 金子書房 (978-4-7608-2009-2)</p>			

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標とする。</p> <p>[授業概要] [メディア授業] 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようしながら講義を進めたい。</p> <p>ゲルマン語を祖語とするアングロ・サクソンの時代から、北欧のノルド語との融合で誕生した古英語、フランスのノルマン人の侵入と支配から生まれた中英語、ルネサンス、宗教改革、シェイクスピアを経て、18世紀近代小説の誕生までのダイナミックな英語という言葉のうねりを知る。そして、それぞれの時代の文学作品の背景と表現方法を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1 『ベオウルフ』—古英語時代(5世紀-12世紀) 2 チョーサー『カンタベリー物語』—中英語時代(12世紀-15世紀) 3 ルネッサンスが花開く—ヘンリー8世と英国国教会 4 シェイクスピア—近代英語時代(16世紀-17世紀) 5 悲劇『マクベス』を読む 6 喜劇『夏の夜の夢』を読む 7 映画『マクベス』 8 “King James Bible”『欽定訳聖書』1611 9 ミルトン『失楽園』—清教徒革命と王政復古の時代(17世紀) 10 ボープとサミュエル・ジョンソンの18世紀 11 バンヤン『天路歷程』 12 デフォー『ロビンソン・クルーソー』—近代小説の誕生18世紀 13 スウィフト『ガリヴァー旅行記』—風刺小説・科学小説・政治小説</p>			

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春風社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S32040 [LEH2-017]

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標とする。</p> <p>[授業概要] [メディア授業] 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようにしながら講義を進めたい。</p> <p>ゲルマン語を祖語とするアングロ・サクソンの時代から、北欧のノルド語との融合で誕生した古英語、フランスのノルマン人の侵入と支配から生まれた中英語、ルネサンス、宗教改革、シェイクスピアを経て、18世紀近代小説の誕生までのダイナミックな英語という言葉のうねりを知る。そして、それぞれの時代の文学作品の背景と表現方法を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1 『ベオウルフ』—古英語時代(5世紀-12世紀) 2 チョーサー『カンタベリー物語』—中英語時代(12世紀-15世紀) 3 ルネッサンスが花開く—ヘンリー8世と英国国教会 4 シェイクスピア—近代英語時代(16世紀-17世紀) 5 悲劇『マクベス』を読む 6 喜劇『夏の夜の夢』を読む 7 映画『マクベス』 8 “King James Bible”『欽定訳聖書』1611 9 ミルトン『失楽園』—清教徒革命と王政復古の時代(17世紀) 10 ボープとサミュエル・ジョンソンの18世紀 11 バンヤン『天路歷程』 12 デフォー『ロビンソン・クルーソー』—近代小説の誕生18世紀 13 スウィフト『ガリヴァー旅行記』—風刺小説・科学小説・政治小説</p>			

科目名	英文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春風社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S32040F [LEH2-017]

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようしながら講義を進めたい。 18世紀から現代までのイギリス文学史を概観する。市民社会の成立とともに小説が中心ジャンルとなる。DVDなどの視覚教材を用い、適宜ディスカッションをおこなう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1. リチャードソン『書簡体小説』—近代小説の発展(18世紀) 2. ワーズワース—ロマン主義の時代 前期(18世紀-19世紀) 3. キーツ—ロマン主義の時代 後期 (19世紀) 4. メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』(1818) 5. オースティンとプロンテ姉妹—ヴィクトリア朝時代・小説I(19世紀-20世紀) 6. チャールズ・ディケンズ—ヴィクトリア朝の小説(19世紀) 7. トマス・ハーディ—ヴィクトリア朝時代・小説II(19世紀-20世紀) 7. オスカー・ワイルド—ヴィクトリア朝の童話・小説・演劇(19世紀) 8. ワイルド『まじめ(アーネスト)が肝心』映画鑑賞 9. ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』(19世紀) 10. イェイツとT. S. エリオット—二十世紀の詩と 11. ヴァージニア・ウルフとジェイムズ・ジョイス—「意識の流れ」 12. ベケット—二十世紀の演劇 13. カズオ・イシグロ『日の名残り』—映画鑑賞</p>			

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春秋社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S32050 [LEH2-018]

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義を受講することにより、単にイギリスの文学の歴史の流れを把握するのみならず、時代を超越した普遍的価値を持つ古典としての様々な文学作品に触れることにより、われわれの精神を豊かにすることを目標にする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 文学作品に親しむことによって自己の視野を広め、人生をよりよく、より深く生きることができる。若い日に文学に触れ、そこに描かれている美しいもの、真実なるものに触れることはきわめて重要なことである。文学作品はそれ以降のその人の生き方を決定づけると云っても過言ではないだろう。イギリス文学のそれぞれの作品は「人生いかに生きるべきか」という問題に真剣に向き合い、生きることの難しさ、生きることの悲しさと喜びを包み隠すことなく誠実に描いている。授業では、文学の発生から現代に至るまでのイギリス文学史の流れを追いながら、各時代の風潮に留意し、文学の背景を明らかにしつつ、それぞれの時代を代表する作家の作品に出来る限り触れるようしながら講義を進めたい。 18世紀から現代までのイギリス文学史を概観する。市民社会の成立とともに小説が中心ジャンルとなる。DVDなどの視覚教材を用い、適宜ディスカッションをおこなう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で次回の授業の準備を指示するので、指示されたことを必ずしたうえで次の授業に出てください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1. リチャードソン『書簡体小説』—近代小説の発展(18世紀) 2. ワーズワース—ロマン主義の時代 前期(18世紀-19世紀) 3. キーツ—ロマン主義の時代 後期 (19世紀) 4. メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』(1818) 5. オースティンとプロンテ姉妹—ヴィクトリア朝時代・小説I(19世紀-20世紀) 6. チャールズ・ディケンズ—ヴィクトリア朝の小説(19世紀) 7. トマス・ハーディ—ヴィクトリア朝時代・小説II(19世紀-20世紀) 7. オスカー・ワイルド—ヴィクトリア朝の童話・小説・演劇(19世紀) 8. ワイルド『まじめ(アーネスト)が肝心』映画鑑賞 9. ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』(19世紀) 10. イェイツとT. S. エリオット—二十世紀の詩と 11. ヴァージニア・ウルフとジェイムズ・ジョイス—「意識の流れ」 12. ベケット—二十世紀の演劇 13. カズオ・イシグロ『日の名残り』—映画鑑賞</p>			

科目名	英文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学の歴史を理解し作品を味わう	メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] テスト(60%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 読んで楽しむイギリス文学史入門 著者名:白井義昭 出版社:春秋社 (978-4-86110-372-8)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S32050F [LEH2-018]

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 19世紀後半の英文学の大きな潮流となった「唯美主義」について基礎的な知識を身につけるとともに、代表的な作品を読み、その根幹をなす見方や文学的表現の特徴、さらに文化的背景を理解することを目標とする。</p> <p>[授業概要] 19世紀中後期のイギリスでは、フランス文学(ゴッティエ、ボードレール)やアメリカ文学(ポー)の影響もあり、「芸術のための芸術」を標榜する「唯美主義」が絵画や文学の分野で盛んになる。とりわけそれは芸術批評の場で目覚ましい作品群を生み出したが、その主張は保守派から「刹那的快楽主義」として烈しい非難をまねくことにもなった。「唯美主義」の代表的な批評作品を取上げ、その根幹にある発想や表現の特徴、文化闘争の一端について、現代的観点をふまえて考察する。(適宜、翻訳を利用する。)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習としては、作品の指定された箇所を目を通し、疑問点や不明点を整理しておく。復習としては、授業内容をふまえてテキストを再読する。予習・復習で2~2.5時間程度。 なお、各回の講義で気づいたことや疑問点をリアクションペーパーに記し、提出してもらう。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 「唯美主義」概観(1) 2. 「唯美主義」概観(2) 3. ゴッティエ『モーバン嬢』序論 4. スウィンバーンの批評作品 5. ペイター『ルネサンス』序論 6. ペイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(1) 7. ペイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(2) 8. ペイター『ルネサンス』から「結語」 9. 保守派からの非難 10. ワイルド「芸術家としての批評家」(1) 11. ワイルド「芸術家としての批評家」(2) 12. ワイルド「芸術家としての批評家」(3) 13. まとめ</p>			

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業参加度(3分の2以上必須)およびリアクションペーパー40%、中間小レポートおよび期末レポート60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaで採点、返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし (manabaにアップする)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

19世紀後半の英文学の大きな潮流となった「唯美主義」について基礎的な知識を身につけるとともに、代表的な作品を読み、その根幹をなす見方や文学的表現の特徴、さらに文化的背景を理解することを目標とする。

[授業概要]

19世紀中後期のイギリスでは、フランス文学(ゴッティエ、ボードレール)やアメリカ文学(ポー)の影響もあり、「芸術のための芸術」を標榜する「唯美主義」が絵画や文学の分野で盛んになる。とりわけそれは芸術批評の場で目覚ましい作品群を生み出したが、その主張は保守派から「刹那的快楽主義」として烈しい非難をまねくことにもなった。「唯美主義」の代表的な批評作品を取上げ、その根幹にある発想や表現の特徴、文化闘争の一端について、現代的観点をふまえて考察する。(適宜、翻訳を利用する。)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

予習としては、作品の指定された箇所を目を通し、疑問点や不明点を整理しておく。復習としては、授業内容をふまえてテキストを再読する。予習・復習で2~2.5時間程度。

なお、各回の講義で気づいたことや疑問点をリアクションペーパーに記し、提出してもらう。

[授業計画]

1. イントロダクション 「唯美主義」概観(1)
2. 「唯美主義」概観(2)
3. ゴッティエ『モーバン嬢』序論
4. スウィンバーンの批評作品
5. ペイター『ルネサンス』序論
6. ペイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(1)
7. ペイター『ルネサンス』から「ジョルジョーネ派」(2)
8. ペイター『ルネサンス』から「結語」
9. 保守派からの非難
10. ワイルド「芸術家としての批評家」(1)
11. ワイルド「芸術家としての批評家」(2)
12. ワイルド「芸術家としての批評家」(3)
13. まとめ

科目名	英文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	唯美主義概観	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業参加度(3分の2以上必須)およびリアクションペーパー40%、中間小レポートおよび期末レポート60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaで採点、返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし (manabaにアップする)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S32000F [LEH1-019]

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 19世紀末～20世紀初頭の英文学において男性同性愛を直接間接に扱った短篇をいくつか取上げ、いまだあからさまな表現が憚られた時代の作家によるさまざまな試みについて理解を深めることが目標である。</p> <p>[授業概要] O・ワイルド、E・M・フォースター、D・H・ロレンスなどの短篇作品を精読しながら、男性同性愛をめぐって屈折し、矛盾を孕み、ときとしてあからさまな表現を、社会的・法的・文化的背景をふまえながら考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 取上げる作品はすべて複数の翻訳があるので、目を通してほしい。 予習としては、翻訳を参照しながら指定された英文の箇所を読み、疑問点や不明点を整理しておくこと。 復習としては、授業で読んだ英文を再読し、気づいた点をメモしておくこと 予習・復習で2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. イギリスにおける男性同性愛をめぐる背景 3. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(1) 4. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(2) 5. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む——先行研究 6. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(1) 7. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(2) 8. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む——先行研究 9. E・M・フォースター「バニックの話」を読む 10. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(1) 11. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(2) 12. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む——先行研究 13. まとめと展望、期末レポート作成のためのアドバイス</p>			

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業参加度およびリアクションペーパー30%、中間(小)・期末レポート70%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 中間(小)・期末レポートともにmanabaで採点、返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし (manabaなどに資料を掲載)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『クィア短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76844-2) 『ゲイ短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76315-7)</p>			

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 19世紀末～20世紀初頭の英文学において男性同性愛を直接間接に扱った短篇をいくつか取上げ、いまだあからさまな表現が憚られた時代の作家によるさまざまな試みについて理解を深めることが目標である。</p> <p>[授業概要] O・ワイルド、E・M・フォースター、D・H・ロレンスなどの短篇作品を精読しながら、男性同性愛をめぐって屈折し、矛盾を孕み、ときとしてあからさまな表現を、社会的・法的・文化的背景をふまえながら考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 取上げる作品はすべて複数の翻訳があるので、目を通してほしい。 予習としては、翻訳を参照しながら指定された英文の箇所を読み、疑問点や不明点を整理しておくこと。 復習としては、授業で読んだ英文を再読し、気づいた点をメモしておくこと 予習・復習で2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. イギリスにおける男性同性愛をめぐる背景 3. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(1) 4. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む(2) 5. オスカー・ワイルド「幸福の王子」を読む——先行研究 6. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(1) 7. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む(2) 8. E・M・フォースター「アーサー・スナッチフォールド」を読む——先行研究 9. E・M・フォースター「バニックの話」を読む 10. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(1) 11. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む(2) 12. D・H・ロレンス「プロシア士官」を読む——先行研究 13. まとめと展望、期末レポート作成のためのアドバイス</p>			

科目名	英文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	19世紀末～20世紀初頭における男性同性愛文学瞥見	講義	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業参加度およびリアクションペーパー30%、中間(小)・期末レポート70%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 中間(小)・期末レポートともにmanabaで採点、返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:リアクションペーパー、期末レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし (manabaなどに資料を掲載)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『クィア短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76844-2) 『ゲイ短編小説集』 著者名:大橋洋一(監訳) 出版社:平凡社 (978-4-582-76315-7)</p>			

S32010F [LEH1-020]

科目名	英米文学作品研究 I	前期	2 単位
サブタイトル	Hemingway の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

米文学の著名な作品を読むことで、他の英文読解とは異なる「文学作品を読むこと」の面白さと難しさを知ると同時に、1ランク上の読解力習得を目指します。

[授業概要]

本授業では、米文学を代表する作家 Ernest Hemingway の自伝的短編集 を読んでいきます。主人公 Nick Adams は、著者自身の分身と言われています。Hemingway という作家自身をより深く知る機会ともしてほしいと思います。

Hemingway 作品は、「ハードボイルド」と呼ばれる短くそぎ落としたような文体で知られます。一見簡単そうですが、同時に「冰山理論」と呼ばれるように、表面に現れている部分は簡潔でもその背後に深い意味が隠されています。この2つの特徴を兼ね備える Hemingway 作品の面白さを、存分に味わってほしいと思います。

授業中はアットランダムに指名し、音読、和訳、解釈をしてもらいます。自分なりに、ということでよいので、各自十分に準備をして授業に臨んでください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

「授業計画」に従い該当する部分を綿密に読み、自分なりに日本語にしておきます。その際「文学作品として成立するような文章」を心掛けること。わからない部分は必ず出てくるとは思いますが「ここは〇〇がわからない」という点を明確にしたうえで授業に臨むことが肝要。予習・復習あわせて2時間をめやすとしてください。

[授業計画]

1. 授業の概要説明、ヘミングウェイ概説、“Three Shots” p.1 - p. 3
2. “Three Shots” p.3 - p.5
3. “Indian Camp” p.6 - 8
4. “Indian Camp” p.8 - 10
5. “Indian Camp” p.10 - 13
6. “The Killers” p.64 - p. 66
7. “The Killers” p.66 - p. 68
8. “The Killers” p.69 - p.71
9. “The Killers” p.71 - p.73
10. “The Killers” p.74 - p.76
11. “The Killers” p.76 - p.78
12. “The Killers” p.78 - p.81
13. まとめ

科目名	英米文学作品研究 I	前期	2 単位
サブタイトル	Hemingway の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		

[成績評価方法]

学期末試験 (70%)、授業中のパフォーマンス (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業中のコメントおよびメール等を通じてフィードバックを行います。課題内容によっては、manaba の掲示板も使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。

成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ

人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。

[教科書 (ISBN)]

Indian Camp: from The Nick Adams Stories 著者名: Ernest Hemingway 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15203-5)

[参考書 (ISBN)]

なし

科目名	英米文学作品研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	ピューリッツア賞受賞作家の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 米文学の著名な作品を読むことで、他の英文読解とは異なる「文学作品を読むこと」の面白さと難しさを知ると同時に、1ランク上の読解力習得を目指します。</p> <p>[授業概要] 本授業では、米国でもっとも権威ある文学賞であるピューリッツア賞を受賞した作家らの短編作品を読んでいきます。</p> <p>具体的には、John Steinbeck の “Breakfast,” William Saroyan の “The First Day of School,” Pearl Buck の “The Kiss” の3作品を精読します(時間が許せば、テキスト掲載の E. Hemingway やB. Malamud の作品にも触れます)。それぞれの作家の背景や作風をより深く知る機会ともしてほしいと思います。</p> <p>授業中はアットランダムに指名し、音読・和訳・作品解釈をしてもらいます。自分なりに、ということでよいので、各自十分に準備をして授業に臨んでください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「授業計画」にしたがって該当する部分を綿密に読み、日本語にしておきます。その際「文学作品として通用するような文章」を心掛けること。わからない部分は必ず出てくるとは思いますが「ここは〇〇がわからない」という点を明確にしたうえで授業に臨むことが肝要です。予習・復習あわせて2時間をめやすとしてください。</p> <p>[授業計画] 1. 授業概要とピューリッツア賞の説明、ジョン・スタインベック概説、“Breakfast,” pp. 4 - 5 2. “Breakfast,” pp. 6 - 8、 3. ウィリアム・サロイアン概説、“The First Day of School,” pp. 12 - 14 4. “The First Day of School,” pp. 15 - 17 5. “The First Day of School,” pp. 17 - 19、 6. パール・バック概説、“The Kiss,” pp. 72 - 73 7. “The Kiss,” pp. 74 - 76 8. “The Kiss,” pp. 77 - 79 9. “The Kiss,” pp. 80 - 82 10. “The Kiss,” pp. 83 - 85 11. “The Kiss,” pp.86 - 87 12. “The Kiss,” pp. 88 13. まとめ</p>			

科目名	英米文学作品研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	ピューリッツア賞受賞作家の短編を読む	演習	
担当者	山口 知子		
<p>[成績評価方法] 学期末試験 (70%)、授業中のパフォーマンス (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中のコメントおよびメール等を通じてフィードバックを行います。 課題の種類によっては、manaba の掲示板も使用します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 授業中のパフォーマンスおよび学期末試験によって評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業中のパフォーマンス、とりわけクラス内でのディスカッション時の貢献度により評価する。</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[授業概要]</p> <p>In this class, students will practice in pairs and small groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.</p> <p>With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>Week 1: Introduction Week 2: Unit 1, The Way We Are Week 3: Unit 2, Experiences Week 4: 'Mini' presentations Week 5: Unit 3, Wonders of the World Week 6: Unit 4, Family Life Week 7: Class presentations I/ Evaluation Week 8: Class presentations II/ Evaluation Week 9: Unit 5, Food Choices Week 10: Unit 6, Managing Life Week 11: 'Mini' presentations Week 12: Class presentations I/ Evaluation Week 13: (Summing up) Class presentations II/ Evaluation</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		

[成績評価方法]

Participation (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final exam (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

For in-class presentations, students will be given written feedback. On-line presentations will have both oral and written feedback.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[教科書(ISBN)]

Touchstone (2nd edition) Student's Book 3 著者名: Michael McCarthy

Jeanne McCarten

Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107665835)

Touchstone (2nd edition) Workbook 3 著者名: Michael McCarthy

Jeanne McCarten

Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107642713)

[参考書(ISBN)]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[授業概要] This course focuses on building oral presentation skills through development of vocabulary, discussion, public speaking, grammar, and oral fluency. Students will learn about how to create a short presentation, and how to deliver it effectively. Students are expected to come to class prepared and ready to actively participate in every class sess</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Unit 1 The way we are 3. Unit 1 The way we are 4. Unit 2 Experiences (presentation (#1) 5. Unit 2 Experiences 6. Unit 3 Wonders of the world 7. Unit 3 Wonders of the world 8. midterm quiz 9. Unit 4 Family life (presentation #2) 10. Unit 4 Family life 11. Unit 5 Food choices 12. Unit 5 Food choices 13. Final test</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]

Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will be given written feedback after each exam and each presentation. I will also give verbal suggestions and feedback.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート

[教科書(ISBN)]

Touchstone (2nd edition) Student's Book 3 著者名: By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)

Touchstone (2nd edition) Workbook 3 著者名: By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)

[参考書(ISBN)]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation I	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

The aim of this class is to study speaking strategies in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook..

[授業概要]

In this class, students will be exposed to a variety of topics, with an emphasis on vocabulary building and grammar. Students will be expected to make short presentations based on topics taken from the textbook. Self-study, and presentation preparation will be assigned as homework.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely matter.

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. Introduction
2. Unit 1 The way we are
3. Unit 1 The way we are
4. Unit 2 Experiences
5. Unit 2 Experiences
6. Unit 3 Wonders of the world; practice presentations
7. Unit 3 Wonders of the world
8. Midterm exam and presentations
9. Unit 4 Family life
10. Unit 4 Family life
11. Unit 5 Food choices
12. Unit 5 Food choices/ final presentations
13. Unit 6 Managing life; evaluation

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation I	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[成績評価方法] Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive rubrics to guide them as well as comments on how they can improve their presentation skills. Students will also be given points on their weekly homework assignments.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] Touchstone (2nd edition) Student's Book 3 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] Touchstone (2nd edition) Workbook 3 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781110000000)</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 聞き手にとってわかりやすく、興味をもたれる発表をするための工夫を学ぶ。また発表するために必要となる語彙力・読解力・リスニング力・構成力および異文化理解の力を身につける。最終的に学んだことを実践し、発表を行う。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 英語による発表をいかに効果的に行うかをさまざまな角度から学ぶ。まずパラグラフの組み立てやトピックの選び方などについて考え、わかりやすい構成の文章を作成する。その上で日本語の発表との違いなども意識し、ジェスチャーや抑揚、表情等に注意して、作成した原稿をもとにプレゼンテーションの練習を行う。リーディングやリスニングも含めた総合的なアクティビティを通して、最終的によりレベルの高い魅力あるプレゼンテーションを行うことを目標とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 決められた課題を各しめ切り日までに準備してくること、小テストなどに備えて学習すること。最終発表にむけて決められた日時までに課題提出と発表の練習を行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. 効果的なプレゼンテーションとは 3. 聴衆を意識する 4. 構成について 5. 構成について 6. 構成について 7. 原稿を完成させる 8. アイ・コンタクト、ジェスチャー、抑揚 9. 原稿の修正 10. スピーチ練習 11. スピーチ練習 12. プレゼンテーション 13. プレゼンテーション</p>			

科目名	Oral Presentation I	前期	1 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] Student attitude (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] プレゼンテーション及びレポートについては下書き段階でフィードバックを返します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[授業概要] In this class, students will practice in pairs and small groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.</p> <p>With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 2nd semester Week 1: Introduction Week 2: Unit 7, Relationships Week 3: Unit 8, What If? Week 4: 'Mini' presentations Week 5: Unit 9, Tech Savvy Week 6: Unit 10 What's up? Week 7: Class presentations I/ Evaluation Week 8: Class presentations II/ Evaluation Week 9: Unit 10, What's Up? Week 10: Unit 11, Impressions Week 11: Unit 12, In the news Week 12: Class presentations I/ Evaluation Week 13: (Summing up) Class presentations II/ Evaluation</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	L. クック		
<p>[成績評価方法] Participation (20%) , Short presentations (20%) , Midterm (30%) , Final (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] For in-class presentations, students will be given written feedback. On-line presentations will have both oral and written feedback.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] "Touchstone, Second Edition, Student's Book 3" 著者名: Michael McCarthy Jeanne McCarten Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107665835) "Touchstone, Second Edition, Student's Book 3 Workbook" (Print) 著者名: Michael McCarthy Jeanne McCarten Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (9781107642713)</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[授業概要]</p> <p>In this class, students will practice in pairs and groups, speaking on a variety of topics. An emphasis will be put on vocabulary building, grammar and fluency.</p> <p>With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Unit 6 : Managing Life 3. Unit 6: Managing Life Continued 4. Unit 7: relationship (presentation #3) 5. Unit 7: relationships continued 6. Unit 8: Life situations 7. Unit 8: continued 8. Midterm quiz 9. Unit 9: Tech savvy 10. Unit 9: Tech savvy continued, (presentation #4) 11. Unit 10 News and entertainment 12. Unit 10 Continued 13. Final Quiz 			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		
<p>[成績評価方法] Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final exam(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given written feedback after each exam and each presentation. I will also give verbal suggestions and feedback.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] Touchstone Second Edition Student's Book 3 著者名:By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社:Cambridge University Press (ISBN 978-1107665835) Touchstone Second Edition Student's Book 3 Workbook 著者名:By Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford 出版社:Cambridge University Press (ISBN 9781107642713)</p> <p>[参考書(ISBN)] English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)</p>			

S30092 [LEH2-002]

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation II	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] The aim of this class is to study speaking and listening intensively in order to develop vocabulary, expressions, and proper usage of grammar. Students will make short presentations based on topics in the textbook.</p> <p>[授業概要] In this class, students will practice in pairs and groups, speaking on a variety of topics, with an emphasis on vocabulary building, grammar and fluency. With this base, students will then be expected to make short presentations based on a variety of topics taken from the textbook. Self-study, listening and presentation preparation will be assigned as homework.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Unit 7 Relationships; practice presentations 3. Unit 7 Relationships 4. Unit 8 What if? 5. Unit 8 What if? 6. Unit 9 Tech savvy 7. Unit 9 Tech savvy; debate 8. Evaluation; presentations 9. Unit 10 What's up? 10. Unit 10 What's up? 11. Unit 11 Impressions 12. Unit 12 In the news; presentations 13. Unit 12 In the news; evaluaton</p>			

科目名	Oral Presentation II	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation II	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[成績評価方法] Participation (20%), Short presentations (20%), Midterm (30%), Final (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive rubrics to guide them as well as comments on how they can improve their presentation skills. Students will also be given points on their weekly homework assignments.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: プレゼンテーション及びレポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] Touchstone Second Edition Student's Book 3 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (978-1107665835)</p> <p>[参考書 (ISBN)] Touchstone Second Edition Student's Book 3 Workbook (Print) 著者名: Michael McCarthy, Jeanne McCarten, and Helen Sandiford 出版社: Cambridge University Press (978-1107642713)</p>			

科目名	Oral Presentation IV		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	S. ロウ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation IIIで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。最終回では全クラス合同でプレゼンテーションコンテストを行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方) 第2回:スピーチの導入表現 第3回:テーマに関する様々な比較 第4回:説得力のあるスピーチの導入 第5回:スピーチで用いるデータ、根拠 第6回:スピーチの展開 第7回:プレゼンテーションの準備 第8回:説得力のあるスピーチの結論 第9回:スピーチの締めくり方 第10回:最終プレゼンテーションの作成 第11回:最終プレゼンテーションの発表 第12回:自由テーマでのプレゼンテーション 第13回:まとめ 期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will be given written feedback after each presentation they do, and after each exam.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]

Speaking of Speech Premium Edition 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning
<elt@cengagejapan.com>. (978-4-86312-385-4)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Oral Presentation IV		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	J. ファハード			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation IIIで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。最終回では全クラス合同でプレゼンテーションコンテストを行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方) 第2回:スピーチの導入表現 第3回:テーマに関する様々な比較 第4回:説得力のあるスピーチの導入 第5回:スピーチで用いるデータ、根拠 第6回:スピーチの展開 第7回:プレゼンテーションの準備 第8回:説得力のあるスピーチの結論 第9回:スピーチの締めくり方 第10回:最終プレゼンテーションの作成 第11回:最終プレゼンテーションの発表 第12回:自由テーマでのプレゼンテーション 第13回:まとめ 期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will receive written feedback after each presentation as well as peer feedback from other students.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書 (ISBN)]

Speaking of Speech Premium Edition 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning Cengage Learning, ELT Japan (978-4-7773-6271-4)

[参考書 (ISBN)]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation IV	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方の学習を通して、説得力のあるプレゼンテーションを行う能力を養う。前期開講のOral Presentation IIIで学習した全ての技能を活用し、受講者自身で話題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Prepare all presentations in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:メッセージの伝え方(身体表現・視覚情報を生かした伝え方) 第2回:スピーチの導入表現 第3回:テーマに関する様々な比較 第4回:説得力のあるスピーチの導入 第5回:スピーチで用いるデータ、根拠 第6回:スピーチの展開 第7回:プレゼンテーションの準備 第8回:説得力のあるスピーチの結論 第9回:スピーチの締めくり方 第10回:最終プレゼンテーションの作成 第11回:最終プレゼンテーションの発表 第12回:自由テーマでのプレゼンテーション 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Oral Presentation IV	後期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation IV	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive feedback based on completed rubrics. Students will be provided with the rubrics before they make their presentations.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests / reviews</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, impromptu speeches</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations</p> <p>[教科書 (ISBN)] Speaking of Speech, Premium Edition 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning (978-4-86312-385-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] None (None)</p>			

科目名	Oral Presentation III		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	S. ロウ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation IVでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: 身体を使った伝達方法の導入 第2回: 姿勢とアイコンタクト 第3回: 情報の伝え方 第4回: ジェスチャー 第5回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備 第6回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表 第7回: 声の抑揚 第8回: 実演的なスピーチ 第9回: 学習した表現の復習、中間試験 第10回: 視覚情報の活用 第11回: 視覚情報に基づく世界の国々の比較 第12回: 世界の国々の比較についてのプレゼンテーション 第13回: まとめ 期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation III	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will be given written feedback after each presentation they do, and after each exam.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]

Speaking of Speech Premium Edition Student Book 著者名: Charles LeBeau 出版社: Cengage (9780000000000)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Oral Presentation Ⅲ		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	J. ファハード			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation IVでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて 2 時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: 身体を使った伝達方法の導入 第2回: 姿勢とアイコンタクト 第3回: 情報の伝え方 第4回: ジェスチャー 第5回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備 第6回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表 第7回: 声の抑揚 第8回: 実演的なスピーチ 第9回: 学習した表現の復習、中間試験 第10回: 視覚情報の活用 第11回: 視覚情報に基づく世界の国々の比較 第12回: 世界の国々の比較についてのプレゼンテーション 第13回: まとめ 期末試験</p>				

科目名	Oral Presentation III	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will receive written feedback after each presentation as well as peer feedback from other students.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: presentations, speeches

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests / reviews

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, peer feedback

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations

[教科書(ISBN)]

Speaking of Speech Premium Edition Student Book 著者名: Charles LeBeau 出版社: Cengage (978-4863123854)

[参考書(ISBN)]

English-Japanese dictionary; notebook; pencils. (none)

科目名	Oral Presentation III	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation III	演習	
担当者	J. ギルバート		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	Discussions, debates, presentations, group work, leadership skills	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 様々な種類のスピーチやプレゼンテーションを英語で行う能力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] プレゼンテーションを行う手法を学ぶことを通して、アイコンタクトやジェスチャー、声の抑揚などの重要性についても同時に学習する。スピーチの導入、本題、結論の述べ方を学習する。伝えたい情報を正確に述べる方法やプレゼンテーションソフトウェアの活用についても学習し、プレゼンテーションを実践する。後期開講のOral Presentation IVでのプレゼンテーションコンテストに向けた準備も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: 身体を使った伝達方法の導入 第2回: 姿勢とアイコンタクト 第3回: 情報の伝え方 第4回: ジェスチャー 第5回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの準備 第6回: 導入、本題、結論が適切に整理されたスピーチの発表 第7回: 声の抑揚 第8回: 実演的なスピーチ 第9回: 学習した表現の復習、中間試験 第10回: 視覚情報の活用 第11回: 視覚情報に基づく世界の国々の比較 第12回: 世界の国々の比較についてのプレゼンテーション 第13回: まとめ 期末試験</p>			

科目名	Oral Presentation III	前期	1 単位
サブタイトル	Oral Presentation III	演習	
担当者	J. ギルバート		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), ショートスピーチ(30%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%), プレゼンテーション (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will receive scores and comments on their exams, and for their presentations, they will receive feedback based on completed rubrics. Students will be provided with the rubrics before they make their presentations.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: presentations, speeches</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests / reviews</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, impromptu speeches</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, peer feedback</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, impromptu speeches, presentations</p> <p>[教科書(ISBN)] Speaking of Speech Premium Edition Student Book 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning (9784860000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] None</p>			

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミック・スキルの基礎を養う。

[授業概要]

大学での学習方法について学ぶ。論文や専門書の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。こういったアカデミック・スキルを実践的に使って、各自の興味のあるトピックを選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書く。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 大学での学修方法
3. レポート執筆方法: 専門分野1における論文と小論文の違い
4. レポート執筆方法: 専門分野1における引用と剽窃の違い
5. レポート執筆方法: 専門分野1における文献調査
6. フィールドワーク
7. 専門分野1の概要
8. 専門分野1の研究手法
9. 専門分野1の研究意義
10. 専門分野1の研究成果
11. 専門分野1の存在意義
12. 専門分野1の今後課題
13. レポート執筆の準備、まとめ

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(20%)、課題(20%)、レポート(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループワークや発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に適宜紹介する。</p>			

S30241 [LEH1-013]

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	資料収集
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミックスキルの基礎を養う。

[授業概要]

大学での学習方法について学ぶ。アカデミックな論文の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。これと平行して適宜文学作品を選び、英語を読む基礎的スキルを身につける。英英あるいは英和辞書必携。
1人1人気になるトピックを自由に選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書いてもらう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 振り返りエンターション
2. 困学での学修方法
3. レポート執筆方法: 専門分野における論文と小論文の違い
4. レポート執筆方法: 専門分野における引用と割罫の違い
5. レポート執筆方法: 専門分野における文献調査
6. フィールドワーク
7. 専門分野1の概要
8. 専門分野1の研究手法
9. 専門分野1の研究意義
10. 専門分野1の研究成果
11. 専門分野1の存在意義
12. 専門分野1の今後課題
13. レポート執筆の準備、まとめ

科目名	基礎セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み (20%)、課題 (20%)、レポート・試験 (60%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S30242 [LEH1-013]

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミック・スキルの基礎を養う。</p> <p>[授業概要] 大学での学習方法について学ぶ。論文や専門書の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方について学ぶ。こういったアカデミック・スキルを実践的に使って、各自の興味のあるトピックを選び、それに関連する新書を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 大学での学修方法 3. レポート執筆方法: 専門分野2における論文と小論文の違い 4. レポート執筆方法: 専門分野2における引用と剽窃の違い 5. レポート執筆方法: 専門分野2における文献調査 6. フィールドワーク 7. 専門分野2の概要 8. 専門分野2の研究手法 9. 専門分野2の研究意義 10. 専門分野2の研究成果 11. 専門分野2の存在意義 12. 専門分野2の今後課題 13. レポート執筆の準備、まとめ</p>			

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び方	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(20%)、課題(20%)、レポート(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループワークや発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に適宜紹介する。</p>			

S30251 [LEH1-014]

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 論理的な文章を読んだり書いたりできるなど、アカデミックスキルの基礎を養う。</p> <p>[授業概要] アカデミックな論文の読み方、資料の探し方、まとめ方、レポートの書き方、発表の仕方を学ぶ。基礎セミナーⅡでは、各自が気に入った英米文学作品の一つを選び、それに関連する文献を要約し、調べたことをもとに期末レポートを書いてもらう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テキスト・教材の指定された箇所を精読して授業に臨むこと。※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入りエンターション 2. 大学での学修方法 3. □レポート執筆方法: 専門分野2における論文と小論文の違い 4. □レポート執筆方法: 専門分野2における引用と剽窃の違い 5. □レポート執筆方法: 専門分野2における文献調査 6. □フィールドワーク 7. 専門分野2の概要 8. 専門分野2の研究手法 9. 専門分野2の研究意義 10. 専門分野2の研究結果 11. 専門分野2の存在意義 12. 専門分野2の今後課題 13. □レポート執筆の準備、まとめ 			

科目名	基礎セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	大学での学び	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(20%)、課題(20%)、レポート・試験(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方にに基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S30253 [LEH1-014]

科目名	児童英語教育研究		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	小島 文恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童期の英語教育に必要な基本的な知識や方法を理解できるようになる。 2. 英語でのやり取りを通して、英語を使いながら学ばせる指導法を身に付けられるようにする。 3. 他者との対話を通して協力しながら児童への英語の活動内容を作ることができるようになる。 <p>[授業概要]</p> <p>まずは児童対象の英語指導方法、授業作りについて基本的な知識を理解していく。そして、練習活動となる歌・チャンツ、絵本、ゲーム、クイズなどを自分が指導できるように練習しながら、英語学習におけるそれぞれの意義を考察する。また、ティーチャートークや言語活動の一つであるスモールトークの実践を通して自らのコミュニケーションスキルを向上させながら、言語使用を通して言語を学ぶ方法を練習する。最後にそれらを授業作りに役立て、自らが授業を組み立てられるようにする。</p> <p>公立小学校及び民間教室での英語指導経験が豊かな教員がその経験を活かして実践的に指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で紹介した活動内容を反復練習してできるようにすること。 講義内に行う小テストのために復習すること。 スモールトークの実践に際しては十分な準備を行うこと。 (各回、予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言語使用を通じた言語習得について 2. スモールトークの仕方 3. リズム・メロディーを通じた活動 4. 知的好奇心を刺激する活動 5. 絵本の活用 6. 小学校学習指導要領における外国語活動・外国語の目標 7. 第二言語習得に関する基本的な知識 8. 異文化理解について 9. 文字指導について 10. 読む活動、書く活動について 11. 一単元の流れ 12. 指導案の作り方 13. 活動発表と振り返り、まとめ 				

科目名	児童英語教育研究	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(スモールトーク発表を含む) (50%)、指導案作成 (20%)、レポート (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中の課題、指導案作成については、授業中にフィードバックする。 レポートについては、manabaを通じてコメントする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中の課題、スモールトークの発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業中の課題、スモールトークの発表に対する取り組みの姿勢</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、スモールトークの発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:指導案作成、スモールトークの発表への取り組み</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(授業時に資料を配布する)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』 http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm 著者名:文部科学省 『小学校英語はじめる教科書(改訂版)』外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー 著者名:吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著) 出版社:mpi松香フォニックス (9784896437829)</p>			

科目名	児童英語教育入門 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童対象の英語教育理念を学び、それを達成するための内容と方法を理解できるようになる。 2. 主に小学校低学年・中学年の活動を実践的に学ぶことにより、その基本的な活動内容を指導できるようになる。 3. 他者との対話を通して協力しながら活動内容を作り上げることができる。 <p>[授業概要]</p> <p>主に小学校低学年から中学年を対象とした指導方法を紹介する。小学生の学年別の特徴に応じた活動内容(ゲーム、クイズ、歌、チャンツ、絵本など)を体験し、練習して、言語学習の理論を踏まえた指導方法が身に付けられるようにする。また、授業中に英語学習活動のミニ発表を行い、そのフィードバックを通して指導技術の向上へつなげていく。そして、毎時間練習を積むことにより、自らが指導できるように導く。</p> <p>公立小学校及び民間教室での英語指導経験が豊かな教員がその経験を活かして実践的に指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で紹介した活動を反復練習してできるようにすること。 講義内に行う小テストのために復習すること。 ミニ発表に際しては十分な準備を行うこと。(各回、予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の公立小学校での英語教育のこれまでの経緯、現状について 2. 低学年対象の活動 3. 歌・チャンツについてその効用と指導のポイント 4. 中学年対象の活動①(練習活動) 5. 中学年対象の活動②(発表活動) 6. 非言語コミュニケーションを扱った活動 7. Classroom English及びTeacher Talkについて 8. 活動目標についての考察 9. 絵本を使った活動 10. 英語によるやりとりの仕方と会話を楽しむ活動 11. 授業過程について 12. 活動案作り 13. 活動発表と振り返り、まとめ 			

科目名	児童英語教育入門 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題と小テスト (40%)、実技(40%)、レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中の課題、小テスト、及び実技に関しては授業中にフィードバックする。 レポートについては、manabaを通じてコメントする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中の課題、活動発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業中の課題や活動発表に対する取り組みの姿勢</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範 やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して 行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。(授業時に資料を配付する)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『小学校英語はじめる教科書(改訂版)』外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿って ー 著者名:吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著) 出版社:mpi松香フォニックス (9784896437829)</p>			

科目名	児童英語教育入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高学年児童対象の英語教育理念とそれを達成するための内容と方法を理解できるようになる。 2. 高学年児童向けの活動を実践的に学ぶことにより、発展的な活動内容を指導できるようになる。 3. 他者との対話を通して協力しながら活動内容を作り上げることができる。 <p>[授業概要]</p> <p>主に小学校高学年を対象とした指導方法を紹介する。小学校高学年児童の特徴を知り、それに応じた活動内容(ゲーム、クイズ、歌、チャンツ、絵本、フォニックスなど)を体験し、練習しながら、学習意欲を高められる指導方法が身に付けられるようにする。また、授業中に英語学習活動のミニ発表を行い、学生相互による評価、自己評価を通して自分の課題を知り、改善策を考えられるようにする。そして、毎時間練習を積むことにより、自らが指導できるように導く。</p> <p>公立小学校及び民間教室での英語指導経験が豊かな教員がその経験を活かして実践的に指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で紹介した活動を反復練習してできるようにすること。 講義内に行う小テストのために復習すること。 ミニ発表に際しては十分な準備を行うこと。(各回、予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高学年の学習上の特徴とそれに合った歌・チャンツ・ゲームの指導の仕方 2. 高学年対象の活動(導入の仕方について) 3. 高学年対象の活動(他教科と関連づけて) 4. 小学校外国語教材(5年生用)について 5. 小学校外国語教材(6年生用)について 6. 英語によるやりとりの仕方、スモールトークについて 7. 自己表現活動、発表活動の仕方 8. 絵本の読み聞かせ 9. 文字指導について 10. 小学校における読む活動、書く活動について 11. 教材・教具の活用法 12. 活動案作り 13. 活動発表と振り返り、まとめ 			

科目名	児童英語教育入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小島 文恵		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題と小テスト (40%)、実技(40%)、レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中の課題、小テスト及び実技に関しては授業中にフィードバックする。 レポートについては、manabaを通じてコメントする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業中の課題、活動発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業中の課題や活動発表に対する取り組みの姿勢</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題、活動発表への取り組み</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。(授業時に資料を配布する)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『小学校英語はじめる教科書(改訂版)』外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー 著者名:吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著) 出版社:(mpi松香フォニックス)(9784896437829)</p>			

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[授業概要] 多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review previous weeks' notes and assignments. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り 第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表 第3回:A world of differenceの総括 第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り 第5回:The work weekについての自分の意見の発表 第6回:The work weekの総括 第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1) 第8回:学習した表現の復習、中間試験 第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り 第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表 第11回:Good times, bad timesの総括 第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2) 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: English only discussions, presentations

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: English only discussions, presentations

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests, assignments

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: English discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, group / pair work

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work

[教科書(ISBN)]

American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (9780000000000)

American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press. (9780000000000)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[授業概要] 多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review previous weeks notes and assignments. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて 2 時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション, Unit 1 A world of differenceの聞き取り 第2回:A world of differenceについての自分の意見の発表 第3回:A world of differenceの総括 第4回:Unit 2 The work weekの聞き取り 第5回:The work weekについての自分の意見の発表 第6回:The work weekの総括 第7回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1) 第8回:学習した表現の復習、中間試験 第9回:Unit 3 Good times, bad timesの聞き取り 第10回:Good times, bad timesについての自分の意見の発表 第11回:Good times, bad timesの総括 第12回:学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2) 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests, assignments</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group / pair work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work</p> <p>[教科書(ISBN)] American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: Liz and John Soars 出版社: Oxford University Press (978-0-19-472591-0) American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press (978-0-19-472591-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] none (none)</p>			

S30002 [LEH1-001]

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[授業概要] 多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must complete assigned homework tasks. They should also prepare for tasks they have to do in class. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: オリエンテーション, Unit 4 Getting it rightの聞き取り 第2回: Getting it rightについての自分の意見の発表 第3回: Getting it rightの総括 第4回: Unit 5 Our changing worldの聞き取り 第5回: Our changing worldについての自分の意見の発表 第6回: Our changing worldの総括 第7回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1) 第8回: 学習した表現の復習、中間試験 第9回: Unit 6 What matters to meの聞き取り 第10回: What matters to meについての自分の意見の発表 第11回: What matters to meの総括 第12回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2) 第13回: まとめ 期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: tests, assignments</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, group work / pair work</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work</p> <p>[教科書(ISBN)] American Headway 2: Student Book (Third Edition) 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0) American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 著者名: None 出版社: None</p>			

S30011 [LEH1-002]

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル	Speaking & Listening II	演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 実際のコミュニケーションの場で使用される頻度の高い英語の表現や文法を用いて、様々な話題について自分の考えを英語で話す力を身に付けると同時に、語彙力や正しい発音の知識を身に付ける。</p> <p>[授業概要] 多様な話題について、日常で遭遇する様々な場面で自信を持って自分の考えを英語で話したり、相手の発話を聞いて、相手の意図を理解したりできるよう、テキストの題材に基づき、様々な活動を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students are expected to come prepared to participate in class</p> <p>各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション, Unit 4 Getting it rightの聞き取り 第2回: Getting it rightについての自分の意見の発表 第3回: Getting it rightの総括 第4回: Unit 5 Our changing worldの聞き取り 第5回: Our changing worldについての自分の意見の発表 第6回: Our changing worldの総括 第7回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(1) 第8回: 学習した表現の復習、中間試験 第9回: Unit 6 What matters to meの聞き取り 第10回: What matters to meについての自分の意見の発表 第11回: What matters to meの総括 第12回: 学習したテーマについての復習、スピーキングテスト(2) 第13回: まとめ 期末試験</p>			

科目名	Speaking & Listening II	後期	1 単位
サブタイトル	Speaking & Listening II	演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(20%), 課題(10%), スピーキングテスト(50%) プレゼンテーション(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will be evaluated by their ability to speak in English during every class which will be reflected in their participation grade. Students will also be evaluated through speeches by teacher and peer evaluation. There will also be two speaking tests with the teacher that will be graded on how fluently they can respond to questions.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: English only discussions, presentations

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: English only discussions, presentations

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: tests, assignments

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, group work / pair work

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: English only discussions, presentations, group work / pair work

[教科書(ISBN)]

American Headway 2: Student Book (Third Edition) 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0)

)

American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)

)

科目名	卒業論文セミナー		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	木村 恵子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って卒業論文を完成できるように必要に応じて個別に指導を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。</p> <p>[授業計画]</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入: 卒業論文の目的と意義・卒業論文にかかわる諸規定 2. 個別指導: テーマの絞込み 3. 個別指導: テーマの絞込み 4. 個別指導: 論文の構成 5. 個別指導: 論文の構成 6. 個別指導: 一次資料と二次資料 7. 個別指導: 一次資料と二次資料 8. 個別指導: テキストの読み込み 9. 個別指導: テキストの読み込み 10. 個別指導: 論文執筆上の注意 11. 個別指導: 論文執筆上の注意 12. 書式と文献目録作成上の注意 13. 書式と文献目録作成上の注意 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間論文準備指導 2. 個別指導: 中間論文フィードバック 3. 個別指導: 論文の展開上の注意 4. 個別指導: 論文の展開上の注意 5. 個別指導: 論文の展開上の注意 6. 個別指導: 二次資料の活用 7. 個別指導: 二次資料の活用 8. 個別指導: 序と結論 9. 個別指導: 序と結論 10. 個別指導: 論文要旨の作成に向けて 11. 個別指導: 論文要旨の作成に向けて 12. 全体指導: 校正の方法 13. セミ内論文発表 				

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] ゼミ内への参加・発表会への取り組み (20%)、卒業論文 (80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 章提出ごとに添削します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[教科書 (ISBN)] 授業にて個別に指示 著者名:x 出版社:x (なし。)</p> <p>[参考書 (ISBN)] MLA英語論文の手引き 著者名:x 出版社:北星堂出版 (9780000000000)</p>			

S39000 [LEH4-001]

科目名	卒業論文セミナー		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	坂元 敦子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文の作成を通して、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 各自が選んだテーマについて卒業論文を作成する。3年次から行ったリサーチを基礎として、論文を執筆する。論文作成にあたっては、問いのたてかた、仮説、先行研究への言及など重要な点がいくつかあるが、中でも論の構成をどう決めるかという点はもっとも重要と考えられるため、最初にこの点について考え、構成を明確に決めることからスタートする。授業内で発表をおこない、質問に対する答えや説明の練習も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回、予習復習あわせて2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 論文執筆に関して 構成①問いをたてる 3. 論文執筆に関して 構成②文献入手と先行研究 4. 論文執筆に関して 構成③自分の論を確認する 5. 論文執筆 6. 論文執筆 7. 論文執筆 8. 発表 9. 発表 10. 論文執筆 11. 論文執筆 12. 論文執筆 13. まとめ <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間報告 2. 中間報告 3. 論文執筆 4. 論文執筆 5. 論文執筆 6. 論文執筆 7. 論文執筆 8. 論文執筆 9. 論文執筆 10. 論文執筆 11. 卒業論文発表 12. 卒業論文発表 13. まとめ 				

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] ゼミ内への参加・発表会への取り組み (20%)、卒業論文 (80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でおこない、マナバも使用します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[教科書 (ISBN)] 授業中に指示します プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に指示します</p>			

S39010 [LEH4-001]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期は、卒業論文で扱う分野を、言語学分野にするのか、それとも英語教育学分野にするのかということを考え、自分の研究したいテーマを見つけます。言語学分野では、例えば、自分が今まで英語を学習してきた疑問に思った言語事実を取り上げ、深く掘り下げるのもいいでしょうし、日本語と英語を比較した研究でもいいでしょう。また、英語教育学の分野では、自分が試してみたい指導法を考え、教育実習中に実践してデータを集め、分析するというのも一つの方法です。また、テーマを探す一方で、同時に論文の書き方(論理展開の方法など)についても学んでいきます。 後期は、自分の研究テーマに関する先行研究を各自で持ち寄り、全員で議論しながら理解を深め、卒業論文の執筆につなげていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。</p> <p>[授業計画] 前期 1. 卒業論文について—その意義とルール 2. 論文作成の基礎:議論の組み立て方 3. 論文作成の基礎:先行研究の調査と引用のルール 4. テーマ・研究計画発表会 5. 研究経過報告(1人目) 6. 研究経過報告(2人目) 7. 研究経過報告(3人目) 8. 研究経過報告(4人目) 9. 研究経過報告(5人目) 10. 議論の構成:データの重要性 11. 議論の構成:データと仮説 12. 前期成果発表会用資料の作成 13. 前期の成果発表会 後期 1. 中間論文発表会<前半> 2. 中間論文発表会<後半> 3. 論文作成指導(1):本論の執筆 4. 論文作成指導(2):本論の執筆 5. 論文作成指導(3):本論の仕上げ 6. 論文作成指導(4):序論と結論の仕上げ 7. 論文作成指導(5):全体構成の最終調整 8. 最終校正(1)レイアウト 9. 最終校正(2)校正 10. 論文の完成、提出 11. 論文要旨作成指導 12. 口頭試問<前半> 13. 口頭試問<後半></p>			

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本田 隆裕		
<p>[成績評価方法] ゼミ内への参加・発表会への取り組み (20%)、卒業論文 (80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 卒業論文の下書きについて年間を通じて複数回フィードバックを返します。卒業論文については口頭試問でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:卒業論文</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S39030 [LEH4-001]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	イギリスの文学・文化の研究	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

卒業論文作成を通じて、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。

[授業概要]

論文のテーマを決め、それに沿って調査・研究し、論文構成についてディスカッションをした上、序論、本論と順次作成していく。中間報告は序論・一章・二章くらいまでを完成させて提出し、その後、三章、結論を完成させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テーマに合わせて資料を集め、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

前期

1. テーマについてディスカッション
2. テーマ決定
3. 序論作成①
4. 序論作成②
5. 1章についてのディスカッション
6. 1章について参考文献の提示と研究
7. 1章を作成
8. 1章の完成
9. 2章についてディスカッション
10. 2章について参考文献の提示と研究
11. 2章を作成
12. 2章の完成
13. 中間報告にむけてのまとめ

後期

1. 中間報告について
2. 3章についてディスカッション
3. 3章について参考文献の提示と研究
4. 3章について研究
5. 3章を作成
6. 3章を完成
7. 結論についてディスカッション
8. 結論を作成
9. 結論のチェック
10. 卒論の本文を通してチェック
11. 「卒論の手引き」を元に卒論を完成させる
12. レジューメ作成
13. 卒論提出

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	イギリスの文学・文化の研究	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] 論文制作の取り組み、論文の内容</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] それぞれのテーマに沿って個別に指導を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S39040 [LEH4-001]

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	言語学(英語学)分野の研究論文の作成	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文の作成を通して、論理的思考力、分析能力、豊かな表現力、情報処理能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 3回生のゼミで学び、検討した内容をもとに、英語を対象とした研究テーマを立て、その研究成果を論文にまとめていくための指導をおこなう(適宜、個別指導も実施する)。調査報告会を適宜実施し、教員および受講生どうしのディスカッションを経て各自の考察を深化させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] テーマに合わせて、資料を集め分析し、論文の構成を考える。各章、序論、結論、それぞれあらかじめ下書きをする。各回の授業についての予習・復習2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業論文について—その意義とルール、テーマの絞り方 2. 論文作成の基礎:議論の組み立て方 3. 論文作成の基礎:先行研究の調査と引用のルール 4. 研究テーマ、研究計画の発表会 5. 研究経過報告(1) 6. 研究経過報告(2) 7. 研究経過報告(3) 8. 研究経過報告(4) 9. 議論の構成(1) 10. 議論の構成(2) 11. 議論の構成(3) 12. 前期成果発表会用資料の作成 13. 前期の成果発表会 <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間論文発表会(1) 2. 中間論文発表会(2) 3. 論文作成指導(1):本論の執筆 4. 論文作成指導(2):本論の執筆 5. 論文作成指導(3):本論の仕上げ 6. 論文作成指導(4):序論と結論の仕上げ 7. 論文作成指導(5):全体構成の最終調整 8. 最終校正(1) 9. 最終校正(2) 10. 論文の完成、提出 11. 論文要旨作成指導 12. ゼミ内卒業論文発表会 13. 口頭試問 			

科目名	卒業論文セミナー	前期～後期	8 単位
サブタイトル	言語学(英語学)分野の研究論文の作成	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法] ゼミ内での取り組み(20%)、卒業論文(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表へのフィードバックは授業内でおこなう。卒業論文の下書きへのフィードバックは添削したものを返却して実施する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ゼミ内での取り組み、卒業論文</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 『論文の教室—レポートから卒論まで』 著者名:戸田山和久 出版社:NHKブックス, 2002年。(978-4-14-001954-2) 『よくわかる卒論の書き方』 著者名:白井利明・高橋一郎 出版社:ミネルヴァ書房, 2013年。(978-4-623-06572-1) 『論文・レポートの基本』 著者名:石黒圭 出版社:日本実業出版社 (978-4534049278)</p>			

S39050 [LEH4-001]

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[授業概要] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中にWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Unit 1 (1) 3. Unit 1 (2) 4. Unit 2 (1) 5. Unit 2 (2) 6. Web Test (1) 7. Unit 3 (1) 8. Unit 3 (2) 9. Unit 4 10. Web Test (2) 11. Unit 5 12. review 13. TOEIC Bridge IP 試験</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] THE TOEIC TEST Trainer Target 650 Revised Edition Student Book 著者名: Masahiko Yamaguchi, Hiroko Matsuura, Michael Howard Maesaka, George W. Pifer 出版社: Cengage Learning (978-4-86312-274-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英語検定試験2級、TOEIC500点</p> <p>[授業概要] TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。コミュニケーション能力が世界共通の客観的数値で正確に出されるので、就職等に欠かせない判定指標となります。着実な学力向上を目指して地道な努力を積み重ねてください。 この授業ではTOEICをまだよく知らなくても効率よく点数を獲得する方法について意識化します。実際のテストに準拠した教科書を使って確実に英語力をアップさせていきます。授業では、文法・語彙・リスニング・リーディングのパートをこなしていきます。十分な予習と復習が必要です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。たとえばインターネットで無料アクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行なう。とくに新しい語句の用例をマスターする。</p> <p>[授業計画] 1.イントロダクション、TOEIC Testとは？ 2.Unit 1 Part1:物の位置と状態を聞きとる Part5:語幹を共有する名詞・動詞・形容詞・副詞 3.Unit 2 Part2:基本的な疑問文に応える) Part6:気をつけるべき英語の語順 Part7:広告文 4. Unit 3 Part3:電話での会話 Part5:数にからんだ語の用法① 5.Unit 4 Part4:スピーチ Part6:数にからんだ語の用法② 6.Unit 5 Part1:人物の動作と様子 Part5:ねらわれやすい現在形と未来を表す表現 7.Review①(振り返り、テスト) 8.Unit 6 Part6:ねらわれやすい過去形と完了形の表現 Part7:図表と文書 9.Unit 7 Part3:カジュアルな日常会話 Part5:比較がらみの表現① 10.Unit 8 Part4:録音メッセージ・広告 Part6: 比較がらみの表現② Part7:雑誌・新聞の記事 11.Unit 9 Part1:建物・乗り物と周りとの関係 Part5:文と文との結びつきの表現① 12.Unit 10 Part2:いろいろな形の問いかけに対応する Part6:文と文との結びつきの表現② Part7:求人広告と応募の手紙 13.Review②(振り返り、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業への参加度(60%)、テスト(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回のミニテストはmanabaで採点して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Approaches to the TOEIC L&R Test 著者名:Kiyomi Tanaka et. all 出版社:南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[授業概要] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中にWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Section 1 3. Section 2 4. Section 3 5. Section 4 6. Web Test (1) 7. Section 5 8. Section 6 9. Section 7 10. Section 8 11. Section 9 12. Section 10 13. TOEIC Bridge IP 試験</p>			

科目名	TOEIC Training I	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 公式TOEIC Listening & Readingトレーニング リーディング編2 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 (4906033733) TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ 著者名: TEX加藤 出版社: 朝日新聞出版 (4023315680)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[授業概要] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、 Semester中に2回のWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[授業計画] 1. Unit 6 (1) 2. Unit 6 (2) 3. Unit 7 (1) 4. Unit 7 (2) 5. Web Test (1) 6. Unit 8 7. Unit 9 8. Unit 10 9. Unit 11 10. Web Test (2) 11. Unit 12 12. review 13. Speech ContestにAudienceとして参加</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	中村 英江		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] TOEIC? TEST Trainer Target 650, Revised Edition 著者名: Masahiko Yamaguchi, Hiroko Matsuura, Michael Howard Maesaka, George W. Pifer 出版社: Cengage Learning (978-4-86312-274-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英語検定試験2級、TOEIC500点</p> <p>[授業概要] TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。コミュニケーション能力が世界共通の客観的数値で正確に出されるので、就職等に欠かせない判定指標となります。学力向上を目指して地道な努力を積み重ねてください。 この授業ではTOEICをまだよく知らなくても効率よく点数を獲得する方法について意識化します。実際のテストに準拠した教科書を使って着実に英語力をアップさせていきます。おもにリスニングとリーディングのパートをこなしていきます。受講生を次々に指名していきますので、十分な予習をして授業に参加してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。インターネットに無料アクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行なう。とくに新しい語句や表現の用例をマスターする。</p> <p>[授業計画] 1.Unit 11 Part3: 同僚との多様なやりとり Part5: V-ingとV-edの使い分け① 2.Unit 12 Part4: 案内放送 Part6: V-ingとV-edの使い分け② Part7: お知らせ文 3.Unit 13 Part1: 複数の人物の様子 Part5: まぎらわしい動詞の語形・意味・語法 4.Unit 14 Part2: HowとWhyの広がる意味とその応答 Part6: まぎらわしい前置詞の表現 Part7: 説明文とレシビ 5.Unit 15 Part3: ビジネス会話 Part5: 不定詞の重要表現① 6.Unit 16 Part4: ガイドの説明 Part6: 不定詞の重要表現② Part7: 社内文書 7.Unit 17 Part1: 写真風景・人物と背景写真の描写 Part5: 条件と仮定法の表現① 8.Review①(振り返り、テスト) 9.Unit 18 Part2: 特殊な疑問文にすばやく反応する Part6: 条件と仮定法の表現② Part7: トリプルパッセージの問題 10.Unit19 Part3: オフィス内の会話 Part5: 疑問詞・関係詞・接続詞 11.Unit 20 Part4: ニュース Part6: 気をつけたい助動詞の用法 Part7: 製品などの説明書 12.単語・熟語チェック 13.Review②(振替値、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	英語の基礎力養成講座	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] テスト(40%)、授業への参加度(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の授業のミニテストは採点して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Approaches to the TOEIC Lab Test 改訂版 著者名:Kiyomi Tanaka et al. 出版社:南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英検2級合格、TOEIC 500点</p> <p>[授業概要] これは英語の資格試験に備えるための授業です。主として、TOEIC(・英検)の準備をします。文法・語彙の学習を徹底することで、さらなるスキルアップを目指します。授業では、資格試験の問題に取り組み、問題の解説を行う、という流れで進めていきます。語彙力・文法力については授業で取り組んだ範囲についての小テストを次回の授業の最初に行い、セメスター中に2回のWeb testを実施し、実際のTOEICに備えます。授業外でのe-learning学習と授業の予習・復習にまじめに取り組むことで基礎力を築き、実際に問題を解いていくことで、自らの到達度や弱点を正確に把握して学習する習慣を身につけます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ①毎日欠かさず英語に触れる時間を確保しておく(e-learning等も十分に活用すること)。 ②自分の学習状況のレビュー(とくに改善点の確認)に十分な時間を費やす。</p> <p>[授業計画] 1. Section 11 2. Section 12 3. Section 13 4. Section 14 5. Section 15 6. Section 16 7. Web Test (1) 8. Section 17 9. Section 18 10. Section 19 11. Web Test (2) 12. Section 20 13. Speech ContestにAudienceとして参加</p>			

科目名	TOEIC Training II	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 公式TOEIC Listening & Readingトレーニング リーディング編2 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 (4906033733) TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ 著者名: TEX加藤 出版社: 朝日新聞出版 (4023315680)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験・受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEICテスト600点をクリアすることを目標とします。</p> <p>[授業概要] ご承知の通り、TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。英語のコミュニケーション能力が客観的数値で計測されるので、就職等の場面で、不可欠な評価指標となっています。着実に英語力をつけていきましょう。 本授業では、実際のTOEIC Testに準拠した教科書を使い、効率よく点数を上げるための戦略を身に着けます。毎回の授業ではリスニングのユニットとリーディングのユニットを交互にこなしていきますので十分予習をして参加してください。 教科書は前期・後期同じものを使用します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。インターネットで無料アクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行なう。とくに新しい語句や表現をマスターする。</p> <p>[授業計画] 1.イントロダクション、TOEIC Testとは？ 2.Unit 1 Part1:物の位置と状態を聞きとる Part5:語幹を共有する名詞・動詞・形容詞・副詞 3.Unit 2 Part2:基本的な疑問文に応える) Part6:気をつけるべき英語の語順 Part7:広告文 4.Unit 3 Part3:電話での会話 Part5:数にからんだ語の用法① 単語チェック 5.Unit 4 Part4:スピーチ Part6:数にからんだ語の用法② 6.Unit 5 Part1:人物の動作と様子 Part5:ねらわれやすい現在形と未来を表す表現 7.Review①(振り返り、テスト) 8.Unit 6 Part6:ねらわれやすい過去形と完了形の表現 Part7:図表と文書 9.Unit 7 Part3:カジュアルな日常会話 Part5:比較がらみの表現① 単語チェック 10.Unit 8 Part4:録音メッセージ・広告 Part6: 比較がらみの表現② Part7:雑誌・新聞の記事 11.Unit 9 Part1:建物・乗り物と周りとの関係 Part5:文と文との結びつきの表現① 12.Unit 10 Part2:いろいろな形の問いかけに対応する Part6:文と文との結びつきの表現② Part7:求人広告と応募の手紙 単語チェック 13.Review②(振り返り、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験・受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の授業のReview workとして行うミニテストはmanabaで採点して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[教科書 (ISBN)] Effective Approaches to the TOEIC L&R Test 著者名: Kiyomi Tanaka et. all 出版社: 南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEIC で 600点以上のスコアを獲得する。</p> <p>[授業概要] 本授業は TOEIC Listening & Reading Test 対策に特化し、実際の TOEIC で600点以上のスコアを獲得するという目標の達成を目指す。 授業では TOEIC と同形式の演習を行い、重要表現の確認や、パートごとの出題形式や設問の内容に応じた解法の説明を行う。多くの英語学習者が苦手意識を持つ英語の聞き取り対策としてディクテーション演習も取り入れる。さらに、単語・フレーズ帳の指定範囲から毎回小テストを実施し、TOEIC で頻出する重要表現の定着を図る。 授業で扱う問題や Web Test、必須受験の IP テストで高得点を目指すことは当然のことながら、誤答の原因を明らかにすることも TOEIC 対策においては重要なプロセスとなる。「なぜその選択肢が答えになるのか」「最も適切かつ効率的な解き方は何か」を自分で説明できるようになるため、適宜ペアワークや全体ディスカッションを取り入れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] (1) 授業で扱った問題を解き直し、特に間違えた問題は、誤答の原因と正答の根拠を説明できるようにする。 (2) 小テストの準備として、毎日単語・フレーズ帳に目を通し、表現を何度も音読して覚えられるようにする。 各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション / Web Test (1) 2. Unit 1: Eating Out (Listening) 3. Unit 1: Eating Out (Reading) 4. Unit 2: Travel (Listening) 5. Unit 2: Travel (Reading) 6. Unit 3: Amusement 7. Unit 4: Meetings 8. Unit 5: Personnel (Listening) 9. Unit 5: Personnel (Reading) 10. Unit 6: Shopping 11. Unit 7: Advertisement (Listening) 12. Unit 7: Advertisement (Reading) 13. Web Test (2) / まとめ ※ 後期の同クラスでも引き続き同じ指定教科書を使用する。</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] フィードバックは manaba を利用して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[教科書 (ISBN)] Step-up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 2 Intermediate 著者名: 北尾泰幸 他 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15595-1) TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ 著者名: TEX 加藤 出版社: 朝日新聞出版 (978-4-02-331684-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC、英検などの対策	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEIC600点</p> <p>[授業概要] この授業ではTOEICの問題を数多く解くことにより、テストの形式に慣れ、より高得点を取得することを目指す。テキストは交通、飲食店、ビジネス、コミュニケーション等の身近なピックにわかれているので、英語圏の文化に親しみながら勉強することができる。なお、TOEIC頻出単語・熟語リストも授業で使用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。(e-learning等も十分に活用する。) 2. 自分の学習状況のレビューに十分な時間を費やす。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. Transportation and Information 3. Instructions and Explanations 4. Eating and Drinking 5. Web Test 6. Eating and Drinking 7. Business Scene 8. Communication 9. Web Test 10. Communication 11. Socializing 12. Socializing 13. まとめ</p>			

科目名	TOEIC Training Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	TOEIC、英検などの対策	演習	
担当者	坂元 敦子		

[成績評価方法]

Web testの結果(20%)、英検・TOEICの結果(20%)、授業への参加(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業内でおこない、マナバも使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 授業への参加

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加

[教科書(ISBN)]

Start-up Course for the TOEIC L&R Test 著者名: Nagaki Kitayama 出版社: 誠美堂 (9784790000000)
プリント配布

[参考書(ISBN)]

授業で指示します。

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEICテスト600点クリアを目標とします。</p> <p>[授業概要] ご承知の通り、TOEICは国際社会で必要とされる「英語によるコミュニケーション能力」を測定するものです。英語のコミュニケーション能力が客観的数値で計測されるので、就職等の場面で、不可欠な評価指標となっています。着実に英語力をつけていきましょう。 本授業では、実際のTOEIC Testに準拠した教科書を使い、効率よく点数を上げるための戦略を身に着けます。毎回の授業ではおもにリスニングのユニットとリーディングのユニットをこなしていきます。受講生を次々に指名していきますので、十分な予習をして授業に参加してください。 (教科書は前期・後期同じものを使用)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。例えばインターネットで無料でアクセスできるサイトで記事を読み、ニュース映像を見る。 2. 授業の復習を必ず行う。特に新しい語・句の用例をマスターする。</p> <p>[授業計画] 1.Unit 11 Part3: 同僚との多様なやりとり Part5: V-ingとV-edの使い分け① 2.Unit 12 Part4: 案内放送 Part6: V-ingとV-edの使い分け② Part7: お知らせ文 3.Unit 13 Part1: 複数の人物の様子 Part5: まぎらわしい動詞の語形・意味・語法 単語テスト 4.Unit 14 Part2: HowとWhyの広がる意味とその応答 Part6: まぎらわしい前置詞の表 Part7: 説明文とレシピ 5.Unit 15 Part3: ビジネス会話 Part5: 不定詞の重要表現① 単語テスト 6.Unit 16 Part4: ガイドの説明 Part6: 不定詞の重要表現② Part7: 社内文書 7.Unit 17 Part1: 写真風景・人物と背景写真の描写 Part5: 条件と仮定法の表現① 8.Review①(振り返り、テスト) 9.Unit 18 Part2: 特殊な疑問文にすばやく反応する Part6: 条件と仮定法の表現② Part7: トリプルパッセージの問題 10.Unit19 Part3: オフィス内の会話 Part5: 疑問詞・関係詞・接続詞 単語テスト 11.Unit 20 Part4: ニュース Part6: 気をつけたい助動詞の用法 Part7: 製品などの説明書 12.単語・熟語チェック 13.Review②(振替値、テスト)</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	資格英語試験の受験の備え	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] テスト(40%)、授業への参加(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の授業のReview workとして行うミニテストはmanabaで採点して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[教科書 (ISBN)] Effective Approaches to the TOEIC Lab Test 改訂版 著者名:Kiyomi Tanaka et. al. 出版社:南雲堂 (978-4-523-17915-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEIC で 600点以上のスコアを獲得する。</p> <p>[授業概要] 本授業は TOEIC Listening & Reading Test 対策に特化し、実際の TOEIC で600点以上のスコアを獲得するという目標の達成を目指す。 授業では TOEIC と同形式の演習を行い、重要表現の確認や、パートごとの出題形式や設問の内容に応じた解法の説明を行う。多くの英語学習者が苦手意識を持つ英語の聞き取り対策としてディクテーション演習も取り入れる。さらに、単語・フレーズ帳の指定範囲から毎回小テストを実施し、TOEIC で頻出する重要表現の定着を図る。 授業で扱う問題や Web Test、必須受験の IP テストで高得点を目指すことは当然のことながら、誤答の原因を明らかにすることも TOEIC 対策においては重要なプロセスとなる。「なぜその選択肢が答えになるのか」「最も適切かつ効率的な解き方は何か」を自分で説明できるようになるため、適宜ペアワークや全体ディスカッションを取り入れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] (1) 授業で扱った問題を解き直し、特に間違えた問題は、誤答の原因と正答の根拠を説明できるようにする。 (2) 小テストの準備として、毎日単語・フレーズ帳に目を通し、表現を何度も音読して覚えられるようにする。 各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[授業計画] ※ 前期の同クラスの指定教科書を引き続き使用する。 1. オリエンテーション / Web Test (1) 2. Unit 8: Daily Life (Listening) 3. Unit 8: Daily Life (Reading) 4. Unit 9: Office Work (Listening) 5. Unit 9: Office Work (Reading) 6. Unit 10: Business (Listening) 7. Unit 10: Business (Reading) 8. Unit 11: Traffic 9. Unit 12: Finance and Banking 10. Unit 13: Media (Listening) 11. Unit 13: Media (Reading) 12. Unit 14: Health and Welfare 13. Web Test (2) / まとめ</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC L&R Test 対策	演習	
担当者	大井 良友		
<p>[成績評価方法] Web Test (20%)、TOEIC・英検 (20%)、授業への参加 (60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] フィードバックは manaba を利用して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への参加</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加</p> <p>[教科書 (ISBN)] Step-up Skills for the TOEIC Listening and Reading Test Level 2 Intermediate 著者名: 北尾泰幸 他 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15595-1) TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ 著者名: TEX 加藤 出版社: 朝日新聞出版 (978-4-02-331684-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEIC600点</p> <p>[授業概要] この授業ではTOEICの問題を数多く解くことにより、テストの形式に慣れ、より高得点を取得することを目指す。テキストは交通、飲食店、ビジネス、コミュニケーション等の身近なピックにわかれているので、英語圏の文化に親しみながら勉強することができる。なお、TOEIC頻出単語・熟語リストも授業で使用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 毎日欠かさず英語に触れる時間を確保する。(e-learning等も十分に活用する。) 2. 自分の学習状況のレビューに十分な時間を費やす。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. Invitation 3. Medical Treatment 4. Culture and Entertainment 5. Web Test 6. Culture and Entertainment 7. Shopping 8. Shopping 9. Web Test 10. Sports and Exercise 11. Sports and Exercise 12. Trouble and Claims 13. まとめ</p>			

科目名	TOEIC Training IV	後期	1 単位
サブタイトル	TOEIC ,英検などの対策。	演習	
担当者	坂元 敦子		

[成績評価方法]

Web testの結果(20%)、英検・TOEICの結果(20%)、授業への参加(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業内で実施し、マナバも使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 授業への参加

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: TOEIC・英検、授業への参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への参加

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: Web Test、TOEIC・英検、授業への参加

[教科書(ISBN)]

Start-up Course for the TOEIC L&R Test 著者名: Nagaki Kitayama 出版社: 誠美堂 (9784790000000)
プリント配布

[参考書(ISBN)]

授業で指示します。

科目名	発音トレーニングA	前期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

英語の発音の仕組みを理解し、習得する。

[授業概要]

発音訓練を通じて、より英語の母語話者に近い英語発音をマスターする。モデルとするのは一般アメリカ英語(General American English)だが、その他の母語変種に関する事項も適宜取り入れる。唇や舌の動かし方から発声法、そしてリズムの取り方まで、あらゆる側面から日本語との違いを確認しながら訓練を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキストにしたがって予習復習(2時間程度)をした上で授業に臨むこと。定期的な発音の小テストをおこなうので練習を積むこと。予習課題を出す場合があるので、自発的に努力すること。

[授業計画]

105分の使い方は原則下記のようなものとし、毎回の内容に応じて微調整する。

15分 前回のおさらい(発音課題について発表)

10分 内容1について説明

15分 内容1の練習

10分 文の中で読んでみる

10分 内容2について説明

15分 内容2の練習

10分 文の中で読んでみる

15分 振り返り課題を練習し、学びを強化

5分 まとめ、課題の提示

毎回の授業の計画は下記の通りである。

言語の音声とは、英語とは

1 Lesson 1-3 World Englishes, Speech Organs, Speech Sounds(世界の英語、発音に使われる器官、言語音声の種類))

英語の子音

2 Lesson 7-8 [p]-[b], [t]-[d](両唇および歯茎閉鎖音)

3 Lesson 9-10 [k]-[g], [f]-[v](軟口蓋閉鎖音および唇歯摩擦音)

4 Lesson 11-12 [θ]-[ð], [s]-[z](歯および歯茎摩擦音)

5 Lesson 13-14 [ʃ]-[ʒ], [tʃ]-[dʒ](硬口蓋歯茎音)

6 Lesson 15-16 [m]-[n]-[ŋ], [r]-[l](鼻音と流音)

7 Lesson 17-18 [h], [j]-[w]-[hw](半母音と声門摩擦音)

英語の母音

8 Lesson 19-20 [i:]-[ɪ], [u:]-[ʊ](高母音)

9 Lesson 21-22 [e]-[æ]-[ɛ], [oʊ]-[ɔ:](中高および中低母音)、期末課題提示

10 Lesson 23-24 [ɑ:]-[ɑ]-[ʌ], [aɪ]-[aʊ]-[ɔɪ](低母音と低母音から始まる二重母音)

11 Lesson 25-26 [ə:]-[ɑə]-[ɔə], [ɪə]-[eə]-[ʊə](rを伴う母音とそれで終わる二重母音)

プロゾディ

12 Lesson 4-6 Word Stress, Sentence Rhythm, Intonation(ストレス(強勢)、英語のリズムとイントネーション)

総まとめ

13 授業の振り返りと課題(音読)発表

テキストの順番と進み方を少し変えています。授業計画と授業中の指示に従って下さい。

科目名	発音トレーニングA	前期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		

[成績評価方法]
知識確認のための課題(manaba利用) 30% 音声を利用した小課題(manaba及び授業内) 30% 最終音読発表課題 40%□

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回manabaを利用して行い、次回授業で解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:知識課題、音声課題を通して達成度を測定する。

[教科書(ISBN)]
『アメリカ英語の発音教本 四訂版』 著者名:津田塾大学英語英文学科 出版社:研究社 (978-4-327-40176-4)

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	発音トレーニングB	後期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

英語の発音の仕組みを理解し、習得する。

[授業概要]

発音訓練を通じて、より英語の母語話者に近い英語発音をマスターする。モデルとするのは一般アメリカ英語(General American English)だが、その他の母語変種に関する事項も適宜取り入れる。唇や舌の動かし方から発声法、そしてリズムの取り方まで、あらゆる側面から日本語との違いを確認しながら訓練を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

テキストにしたがって予習復習(2時間程度)をした上で授業に臨むこと。定期的な発音の小テストをおこなうので練習を積むこと。予習課題を出す場合があるので、自発的に努力すること。

[授業計画]

105分の使い方は原則下記のようなものとし、毎回の内容に応じて微調整する。

- 15分 前回のおさらい(発音課題について発表)
- 10分 内容1について説明
- 15分 内容1の練習
- 10分 文の中で読んでみる
- 10分 内容2について説明
- 15分 内容2の練習
- 10分 文の中で読んでみる
- 15分 振り返り課題を練習し、学びを強化
- 5分 まとめ、課題の提示

毎回の授業の計画は下記の通りである。

言語の音声とは、英語とは

1 Lesson 1-3 World Englishes, Speech Organs, Speech Sounds(世界の英語、発音に使われる器官、言語音声の種類)

英語の子音

- 2 Lesson 7-8 [p]-[b], [t]-[d](両唇および歯茎閉鎖音)
- 3 Lesson 9-10 [k]-[g], [f]-[v](軟口蓋閉鎖音および唇歯摩擦音)
- 4 Lesson 11-12 [θ]-[ð], [s]-[z](歯および歯茎摩擦音)
- 5 Lesson 13-14 [ʃ]-[ʒ], [tʃ]-[dʒ](硬口蓋歯茎音)
- 6 Lesson 15-16 [m]-[n]-[ŋ], [r]-[l](鼻音と流音)
- 7 Lesson 17-18 [h], [j]-[w]-[hw](半母音と声門摩擦音)

英語の母音

- 8 Lesson 19-20 [iː]-[ɪ], [uː]-[ʊ](高母音)
- 9 Lesson 21-22 [ɛ]-[æ]-[eɪ], [oʊ]-[ɔː](中高および中低母音)、期末課題提示
- 10 Lesson 23-24 [ɑː]-[ɑ]-[ʌ], [aɪ]-[aʊ]-[ɔɪ](低母音と低母音から始まる二重母音)
- 11 Lesson 25-26 [ɚː]-[əɚ]-[ɜə], [ɪə]-[ɛə]-[ʊə](rを伴う母音とそれで終わる二重母音)

プロゾディ

12 Lesson 4-6 Word Stress, Sentence Rhythm, Intonation(ストレス(強勢)、英語のリズムとイントネーション)

総まとめ

13 授業の振り返りと課題(音読)発表

テキストの順番と進み方を少し変えています。授業計画と授業中の指示に従って下さい。

科目名	発音トレーニングB	後期	1 単位
サブタイトル	英語の発音の理解と習得	演習	
担当者	立石 浩一		

[成績評価方法]
知識確認のための課題(manaba利用) 30% 音声を利用した小課題(manaba及び授業内) 30% 最終音読発表課題 40%□

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回manabaを利用して行い、次回授業で解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法:発音発表を通して達成度を測定する。

学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:知識課題、音声課題、発音発表を通して学習・学修への準備、責任感を測定する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:知識課題、音声課題を通して達成度を測定する。

[教科書(ISBN)]
『アメリカ英語の発音教本 四訂版』 著者名:津田塾大学英語英文学科 出版社:研究社 (978-4-327-40176-4)

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	Practical Cross-Cultural Communication		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	J. ファハード			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	0		グループワーク	0
プレゼンテーション	0		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Students will have a greater understanding of their own and other countries' communication styles. They will speak with people of foreign cultures through zoom sessions to practice using more authentic, natural English in conversation.</p> <p>[授業概要] Students will discuss various topics together and with foreigners in English. They will also write a report and make a presentation about what they learned from speaking with foreigners.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students will prepare interview questions. They will practice delivering them, and they will prepare reports on what they learned from their foreign partners.</p> <p>[授業計画] 1. Orientation, Unit 1: Communication 2. Unit 2: Culture 3. Unit 4: Communicating clearly 4. Unit 5: Culture and values 5. Unit 6: Culture and perception 6. Unit 7: Diversity 7. Unit 8: Stereotypes 8. Unit 9: Culture shock 9. Unit 10: Culture and Change 10. Unit 11: Talking about Japan 11. Unit 12: Becoming a global person 12. Presentation preparation 13. Final presentations</p> <p>** Schedule will change depending on when Zoom sessions with foreigner students can be scheduled.</p>				

科目名	Practical Cross-Cultural Communication	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] Class attitude 20%, Interview preparation 10%, interview participation 20%, presentations 20% written reports 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will write reports on what they learned from students from different cultures and then have a presentation on the information they compiled over the course of a semester.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:English only discussions, interviews</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:interviews, reports, presentations</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:readings, English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:interviews, English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:presentations, reports, interviews</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:readings, English only discussions</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:interviews, presentations, discussions</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:English only discussions, reports, presentations, interviews</p> <p>[教科書(ISBN)] Speaking of Intercultural Communication 著者名:Peter Vincent 出版社:NAN' UN-DO (978-4-523-17840-8)</p>			

S31145 [LEH3-015]

科目名	プレセミナーA	前期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] The goal of this class is for students to be part of a positive force of globalization.</p> <p>[授業概要] In this course, students will explore and learn how to communicate with people from all over the world. The influx of culture can enrich us but also cause misunderstandings. How can we communicate with people from different backgrounds? How can we learn to appreciate the differences? How do we respect others? These are some of the questions that must be addressed in this day of age. Every week, we will discuss not only the differences between cultures but also what we learn about ourselves from those differences.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1 Communication 2 Cultur 3 Nonverbal Communication 4 Communicating Clearly 5 Culture and Values 6 Culture and Perception 7 Diversity 8 Stereotypes 9 Culture Shock 10 Culture and Change 11 Talking about Japan 12 Becoming a Global Person</p>			

科目名	プレセミナーA	前期	2 単位
サブタイトル	Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
<p>[成績評価方法] Participation (20%)、Short Assessment (50%) Presentation(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba を通じて講評をフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Speaking of Intercultural Communication 著者名:Peter Vincent 出版社:南雲堂 (9784523178408)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	プレセミナーA	後期	2 単位
サブタイトル	□Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] The goal of this class is for students to be part of a positive force of globalization.</p> <p>[授業概要] In this course, students will explore and learn how to communicate with people from all over the world. The influx of culture can enrich us but also cause misunderstandings. How can we communicate with people from different backgrounds? How can we learn to appreciate the differences? How do we respect others? These are some of the questions that must be addressed in this day of age. Every week, we will discuss not only the differences between cultures but also what we learn about ourselves from those differences.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] Communication 2 Culture 3 Nonverbal Communication 4 Communicating Clearly 5 Culture and Values 6 Culture and Perception 7 Diversity 8 Stereotypes 9 Culture Shock 10 Culture and Change 11 Talking about Japan 12 Becoming a Global Person 13 Review</p>			

科目名	プレセミナーA	後期	2 単位
サブタイトル	□Cross-cultural Communication	演習	
担当者	前田 葵		
<p>[成績評価方法] Participation (20%)、Short Assessment (50%) Presentation (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba を通じて講評をフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Speaking of Intercultural Communication 著者名: Peter Vincent 出版社: 南雲堂 (9784523178408)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	プレセミナーB	前期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 一冊の原書を読み切る喜びを知る</p> <p>[授業概要] イギリスのノーベル賞作家Kazuo IshiguroのNever Let Me Go(『私を離さないで』)を読みます。原書と翻訳本を比較しながら、小説の英文に親しむことを第一目標とし、翻訳本に見られる和訳技術についても学びます。1990年代末のイギリスで臓器提供者達の世話をする31歳の介護人キャシーは、提供者達の世話をしつつ自分の育ったヘルシヤムにある施設で暮らした奇妙な少女時代や卒業後を回想し、自分達の秘密を紐解いていく物語ですが、映画もあり、また日本でドラマ化されていますので、内容的にはヘヴィーですが、物語自体はわかりやすいと思われず。授業ではポイントとなる場面を選んで読んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業を受ける前にさっと目を通しておくべき部分と、辞書をつかってしっかり調べる部分を指定します。授業では、各パートの読みどころを中心に語彙、文法、文体に注意を払いながら読んでいきます。各回予復習会わせて1-2時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作品の概要、予習の仕方の説明 2 Part One (1) 3 Part One (2) 4 Part One (3) 5 Part One (4) 6 Part Two (1) 7 Part Two (2) 8 Part Two (3) 9 Part Two (4) 10 Part Three (1) 11 Part Three (2) 12 Part Three (3) 13 Part Three (4) 			

科目名	プレセミナーB	前期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		

[成績評価方法]

- (1)課題30%
(2)レポート・試験70%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaやメール等でおこなう

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

科目名	プレセミナーB	後期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 一冊の原書を読み切る喜びを知る</p> <p>[授業概要] イギリスのノーベル賞作家Kazuo IshiguroのNever Let Me Go(『私を離さないで』)を読みます。原書と翻訳本を比較しながら、小説の英文に親しむことを第一目標とし、翻訳本に見られる和訳技術についても学びます。1990年代末のイギリスで臓器提供者達の世話をする31歳の介護人キャシーは、提供者達の世話をしつつ自分の育ったヘルシャムにある施設で暮らした奇妙な少女時代や卒業後を回想し、自分達の秘密を紐解いていく物語ですが、映画もあり、また日本でドラマ化されていますので、内容的にはヘヴィーですが、物語自体はわかりやすいと思われず。授業ではポイントとなる場面を選んで読んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業を受ける前にさっと目を通しておくべき部分と、辞書をつかってしっかり調べる部分を指定します。授業では、各パートの読みどころを中心に語彙、文法、文体に注意を払いながら読んでいきます。各回予復習合わせて1-2時間程度。</p> <p>[授業計画] □ 1 作品の概要、予習の仕方の説明 2 Part One (1) 3 Part One (2) 4 Part One (3) 5 Part One (4) 6 Part Two (1) 7 Part Two (2) 8 Part Two (3) 9 Part Two (4) 10 Part Three (1) 11 Part Three (2) 12 Part Three (3) 13 Part Three (4)</p>			

科目名	プレセミナーB	後期	2 単位
サブタイトル	Never Let Me Goを読む	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] (1)課題30% (2)レポート・試験70%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

S30283 [LEH2-008]

科目名	プレセミナーC	前期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学テキストの精読の仕方を習得する。 すぐには理解できないものも、受けとめ、考える「ネガティブ・ケイパビリティ」を身につける。 作品がどのような歴史的、社会的、思想的、自伝的背景のもとで書かれたを知る。 疑問点を見つけ、そこから論文に展開する方法を学ぶ。 <p>[授業概要]</p> <p>浮浪者二人があっただけもない「ゴドー」を待ち続ける劇でありながら、20世紀演劇の代表作として知られるサミュエル・ベケットのWaiting for Godot(1952)を、翻訳『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を参照しながら読んでいきます。そして様々な観点から、作品に光を当てていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知り、どのような状況からこの作品が生まれたのかを考える。 2 『ゴドー』初演1953年に、ジャン・アヌイが『ゴドー』を「喜劇役者が演じるパスカルの『パンセ』と批評したのは、どういう意味か？パスカルの思想にも触れていきます。 3 『ゴドー』には、20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、当時のミュージック・ホールの演藝的側面もあることを、見ていきます。 4 前衛劇と呼ばれる『ゴドー』ですが、じつは西洋文学の伝統に深く根ざしていることを検証していきます。(文学: 聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イェイツ、J. M. シング) 5 『ゴドー』の舞台には、西洋絵画の伝統も流れている (マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イェイツ) 6 『ゴドー』には、第二次世界大戦でパリに住んでいたベケットが、ナチスから逃げて、南フランスに潜伏した記憶も綴られている。 7 これらさまざまな背景を知った上で、今、わたしたちは『ゴドー』をどう読むかを議論していきます。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を一読しておくこと。 英文テキスト"Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts"を毎回予習しておくこと。 分からない単語、表現は辞書を引く、台詞のやりとりを理解する。 サイレント映画や絵画の影響などを調べ、パワーポイント資料作成。(2時間) <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知る(ダブリンからパリへ、二カ国語作家への道) 2 日本語と英語でのテキスト読み合わせ(以後、毎回)。伝統的演劇を知り、『ゴドー』の特異性を考える。 3 20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、ミュージック・ホールの影響 4 パスカルの『パンセ』と『ゴドー』 5 西洋文学の古層、伝統 (聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イェイツ、J. M. シング) 6 西洋絵画の伝統 (マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イェイツ) 7 第二次世界大戦、ナチスのパリ占領、レジスタンス運動、南仏ルシヨンでの農作業 8 戦後:ベケットの二人組 9 ライブニッツの「無窓性」と『ゴドー』のちぐはぐな会話 10 待つこと・生きること・死ぬこと:「木の葉のそよぎだ」 11 疑問点をあげて議論しよう 12 論文の書き方、参考文献を読む 13 自分の視点を見つけプレゼンとディスカッション 			

科目名	プレセミナーC	前期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] 授業への貢献(30%)、授業内の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表へのフィードバックは授業中に行う。レポートはコメントを書き入れたものを返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts』 著者名:Samuel Beckett 出版社:Grove Press (080214442X) 『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス) 著者名:サミュエル・ベケット 出版社:白水Uブックス (4560071837)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『ベケット大全』 著者名:高橋康也監修 出版社:白水社 (9784870000000) ベケット伝(上・下) 著者名:ジェームズ・ノウルソン 出版社:白水社 (4560047650) なぜベケットか 著者名:イノック・ブレイター 出版社:白水社 (4560028559)</p>			

S30284 [LEH2-009]

科目名	プレセミナーD	後期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学テキストの精読の仕方を習得する。 すぐには理解できないものも、受けとめ、考える「ネガティヴ・ケイパビリティ」を身につける。 作品がどのような歴史的、社会的、思想的、自伝的背景のもとで書かれたを知る。 疑問点を見つけ、そこから論文に展開する方法を学ぶ。 <p>[授業概要]</p> <p>浮浪者二人があつたこともない「ゴドー」を待ち続ける劇でありながら、20世紀演劇の代表作として知られるサミュエル・ベケットのWaiting for Godot(1952)を、翻訳『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を参照しながら読んでいきます。そして様々な観点から、作品に光を当てていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知り、どのような状況からこの作品が生まれたのかを考える。 2 『ゴドー』初演1953年に、ジャン・アヌイが『ゴドー』を「喜劇役者が演じるパスカルの『パンセ』と批評したのは、どういう意味か？パスカルの思想にも触れていきます。 3 『ゴドー』には、20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、当時のミュージック・ホールの演藝的側面もあることを、見ていきます。 4 前衛劇と呼ばれる『ゴドー』ですが、じつは西洋文学の伝統に深く根ざしていることを検証していきます。(文学: 聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イェイツ、J. M. シング) 5 『ゴドー』の舞台には、西洋絵画の伝統も流れている。(マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イェイツ) 6 『ゴドー』には、第二次世界大戦でパリに住んでいたベケットが、ナチスから逃げて、南フランスに潜伏した記憶も綴られている。 7 これらさまざまな背景を知った上で、今、わたしたちは『ゴドー』をどう読むかを議論していきます。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス)を一読しておくこと。 英文テキスト「Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts」を毎回予習しておくこと。 分からない単語、表現は辞書を引き、台詞のやりとりを理解する。 サイレント映画や絵画の影響などを調べ、パワーポイント資料作成。(2時間) <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サミュエル・ベケットの生い立ちを知る(ダブリンからパリへ、二カ国語作家への道) 2 日本語と英語でのテキスト読み合わせ(以後、毎回)。伝統的演劇を知り、『ゴドー』の特異性を考える。 3 20世紀初頭のサイレント映画の喜劇王チャップリンやキートン、ミュージック・ホールの影響 4 パスカルの『パンセ』と『ゴドー』 5 西洋文学の古層、伝統(聖書、シェイクスピア、ダンテ、W. B. イェイツ、J. M. シング) 6 西洋絵画の伝統(マンテーニャ、プリューゲル、ジャック・B・イェイツ) 7 第二次世界大戦、ナチスのパリ占領、レジスタンス運動、南仏ルシヨンでの農作業 8 戦後:ベケットの二人組 9 ライプニッツの「無窓性」と『ゴドー』のちぐはぐな会話 10 待つこと・生きること・死ぬこと:「木の葉のそよぎだ」 11 疑問点をあげて議論しよう 12 論文の書き方、参考文献を読む 13 自分の視点を見つけプレゼンとディスカッション 			

科目名	プレセミナーD	後期	2 単位
サブタイトル	現代演劇の最高傑作 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』/Waiting for Godot を読み	演習	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] 授業への貢献(30%)、授業内の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表へのフィードバックは授業中に行う。レポートはコメントを書き入れたものを返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『Waiting for Godot: A Tragicomedy in Two Acts』 著者名:Samuel Beckett 出版社:Grove Press (080214442X) 『ゴドーを待ちながら』(白水Uブックス) 著者名:サミュエル・ベケット 出版社:白水Uブックス (4560071837)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『ベケット大全』 著者名:高橋康也監修 出版社:白水社 (9784870000000) ベケット伝(上・下) 著者名:ジェームズ・ノウルソン 出版社:白水社 (4560047650) なぜベケットか 著者名:イノック・ブレイター 出版社:白水社 (4560028559)</p>			

S30285 [LEH2-010]

科目名	プレセミナーH	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学に必要な英語運用能力を身につけるとともに、ハワイの事情に精通して多角的なものの見方ができるようにする。

[授業概要]

[メディア授業]

ハワイの歴史を伝統を知り、英語のベーシックスキルを養ってプログラムが始まった時に戸惑うことなく留学生活をスタートさせられるように態勢を整える。安全で心身ともに健康な生活が送れるように保険、栄養、心理の各分野の専門家から講義を受け、さらにハワイ大学から派遣されている教員からもオリエンテーションを受けることにより、現在のハワイ(大学・社会・文化を含む)の情報を得る。このように、さまざまな方法で留学準備をしながら、受講生の英語運用能力を高め、自らの考えを英語で発信するとともに説得力のある説明ができるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

①授業を欠席しない。(時間厳守)②与えられた課題は必ず提出する。③毎日かかさず英語に触れる時間は確保する。各回、予習、復習、課題を合わせて4時間程度。

[授業計画]

1. ハワイセメスター留学の概要について
2. 自己紹介の仕方
3. 寮・大学の規律・日常生活について
4. Placement Testを意識した勉強方法とは
5. メンタルチェック(リスク・マネージメント)
6. 渡航手続き・危機管理について
7. 食と健康について
8. 体の安全と衛生について
9. ハワイについて書かれた本を読みレポートを提出
10. ファハード先生によるオリエンテーション
11. スピーチ原稿の作成
12. スピーチの練習
13. 結団式

科目名	プレセミナーH	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] 授業中の取り組み(40%)、レポート(40%)、発表(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言葉について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート及び発表</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S30311 [LEH2-011]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	言語学の研究課題	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語学(英語学)の研究トピックにどのようなものがあるかを理解する。 ・関連する文献を読み込む能力を養う。 ・各自、卒業論文につながる具体的な研究テーマを発見する。 <p>[授業概要]</p> <p>言語学(英語学)の諸分野が扱う研究課題について、文法や意味を対象としたもの等を中心に概観し、自らの興味のある研究テーマの発見とその分析方法の習得へとつなげる。</p> <p>学期の前半では、各回で取り上げる研究分野の基本的事項を教員が解説し、関連する文献を紹介する。また、各回のトピックにそってどんな研究テーマが立てられるかを、個人またはグループで検討し、発表する。これにより、テーマを具体的に絞る方法を学び、他者のアイデアから自らの興味を広げていく。</p> <p>学期の後半では、実際に卒業論文で扱うテーマを具体的に各自で検討し始め、それに沿った参考文献を入手、読解を始める。適宜、テーマの絞り方や文献の入手方法等、教科書を用いながら確認していく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習:各回に取り上げる研究分野に関連して事前に調査し、興味深いと思う研究テーマをあらかじめ考えておく。</p> <p>復習:配布資料や講義内容を振り返り、理解を深めておく。</p> <p>※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに: 自己紹介・本セミナーについて・言語学の諸分野の紹介 2. 英語の音声、音韻: 日英語の違いと共通点 3. 単語の構造: 単語の内部構造と意味 4. 文法的な文と非文的な文の分析: さまざまな構文とその規則 5. 認知と意味: ことばの意味の広がり(前置詞の意味、比喩表現) 6. 文脈と意味: 直接的な意味と言外の意味 7. 言語のバリエーション: 多様な日本語、英語 8. 論文の構成を知る 教科書Ch.1「論文の構成の考え方」 9. テーマの検討(1): キーワードを集めて整理する 教科書Ch.2「問う一目的」 10. テーマの検討(2): テーマを具体化して絞る 11. 参考文献の入手 教科書Ch.3「調べる一先行研究」 12. 参考文献の読解・要約 13. まとめ: 検討中のテーマと関連文献の内容の発表 			

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	言語学の研究課題	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループワークや発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 論文・レポートの基本 著者名: 石黒圭 出版社: 日本実業出版社 (978-4534049278)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に適宜紹介する。</p>			

S30584 [LEH3-008]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	「新しい女」の出現	演習	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究方法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

イギリス19世紀末にあらわれた「新しい女」の文学的表象について、現代的観点から考察する。前半では、ヴィクトリア朝の、おもに中産階級のジェンダー規範にかんする代表的な言説(ラスキンほか)を読んだのち、「新しい女」の登場する社会的背景について文献により理解する。そのあと、規範からの解放を求める女たちの姿を描いたギッシングの長篇小説の一部を読む。毎回、受講生はレジュメを作成し報告する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講生も指定された箇所を精読してくる。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション
2. ラスキンの『胡麻と百合』より(1)
3. ラスキンの『胡麻と百合』より(2)
4. サラ・ルイス『女性の使命』
5. サラ・ルイス『イングランドの女性』
6. 「新しい女」の登場(1)
7. 「新しい女」の登場(2)
8. 「新しい女」の登場(3)
9. ギッシング『余った女たち』(1)
10. ギッシング『余った女たち』(2)
11. ギッシング『余った女たち』(3)
12. ギッシング『余った女たち』(4)
13. まとめと展望、レポート作成のためのアドバイス

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	「新しい女」の出現	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(20%)、授業中の発表(20%)、期末レポート(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行なう</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント配布(manabaへの掲載をふくむ)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『(新しい女たちの)世紀末』 著者名:川本静子 出版社:みすず書房 (978-4622046769) 『(新しい女)の系譜』 著者名:武田美保子 出版社:彩流社 (978-4882028161)</p>			

S30585 [LEH3-008]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の味わい方について、作品を読んだり映画を見たりして考え、アメリカの文化や社会、歴史に親しむ。最初に代表的なアメリカ文学作品を紹介し、さらに自分の選んだアメリカ文学の作品についてリサーチし発表しながら卒業論文のテーマを決める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の担当者はレジュメを用意し、発表の準備をする。各回、予習復習あわせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション/課題と発表について説明 2. アメリカについてー歴史を概観する 3. アメリカについてーその社会 4. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する 5. アメリカ文学の代表的な作品を紹介する 6. 映画大国アメリカ 映画化されたアメリカ文学作品 7. 映画大国アメリカ 映画化されたアメリカ文学作品 8. 映画大国アメリカ 映画化されたアメリカ文学作品 9. アメリカ文学作品についてリサーチする 10. アメリカ文学作品についてリサーチする 11. 作品を選び発表する 12. 作品を選び発表する 13. まとめ</p>			

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で実施し、マナバでもおこないます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] The Glass Menagerie 著者名:Tennessee Williams 出版社:New Directions (9780810000000) プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業で指示します</p>			

S30587 [LEH3-008]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

人魚というのはどうい生き物なのだろうか。ギリシャ神話やホメロスの『オデュッセイア』の中では、半人半鳥でセイレーンと呼ばれている。それは海岸に生息する生き物であることから時代を経て半身半魚の人魚へと形が変容していく。その特性として、美しい歌声をもって船員を惑わせ没我状態にし、船を遭難させたり、船員を海底まで引きずり込み、命を奪うことがあげられる。

人魚は人間とは違う異形の生き物である。この生き物が人間に恋愛感情を抱いた場合どうなるのだろうか？古来より語り継がれてきた人魚の物語は、悲劇で終わることと決まっていた。人魚は地上では生きれないし、人間は海中では生きれないのだ。有名なアンデルセンの「人魚姫」の末路は昔からの異類婚のむずかしさを踏襲している。

そんな悲恋、悲劇の物語をハッピーエンドの物語へと変えたのはディズニーである。このようにハッピーエンドに変えた理由は何か。またその終わり方によってこれまで語り継がれてきた視点がひっくり返されたことになる。そのことで何が得られ、何が失われたのだろうか。

20世紀以降も人魚は様々なかたちで描かれるようになった。なぜ私達はこの人魚という異形の生き物にこも惹きつけられるのだろうか？

授業では、まず人魚(セイレーン)の誕生の史的背景を踏まえ、アンデルセンやフーク、ジロウの物語への展開をたどる。そして『リトル・マーメイド(アニメ版)』(Little Mermaid)(1989)を取り上げ、それが30年を経て『リトル・マーメイド(実写版)』(2023)で軸軸は同じながらもその主題がどのように変化したかを考察する。さらに『バイレーツ・オブ・カリビアン/生命(いのち)の泉』(Pirates of the Caribbean: On Stranger Tides)(2011)を取り上げ、ファム・ファタールの側面を持つ人魚に焦点をあてて分析を試みる。いくなればこの作品に登場する人魚達が古典を正統に受け継いだものともいえる。さらに『崖の上のポニョ』(2008)や『シェイプ・オブ・ウォーター』(2017)というそれまでの人魚像をくつがえす存在の登場に時代の影響を見る。

他に参照するのは以下の映画である:『スプラッシュ』(1984)、『愛しのアクアマリン』(Aquamarine)(2006)、『PAN ～ネーバーランド、夢のはじまり～』(2015)、『ゆれる人魚』(2015)、『人魚姫』(2016)。こうした映画を通して人魚が現代人に訴えてくるものとは何なのかをみんなと考えていきたいと思う。

なお同時に卒論に向けて論文の書き方の指導も行っているので授業ではコンピュータも使用します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読しておくこと。

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション。
2. 人魚はどのようにして生まれたのか？
3. 人魚関連の映画を観て分析をする。
4. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
5. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
6. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
7. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
8. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
9. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
10. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
11. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
12. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
13. 全体のまとめ

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ドライブを共有設定にして課題をチェックし、レポート提出ごとに添削します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業時に指示する。</p>			

S30588 [LEH3-008]

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学に見る結婚	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究方法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

イギリスの詩、演劇、小説を取り上げ、そこに描かれる男たちや女たちの生き方を探ること
で、イギリスの社会、文化、歴史、ジェンダー観について学びます。前期はジェイン・オースティン『高慢と偏見』をじっくり読みます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はシユメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講生も指定された箇所を精読してくること。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション
2. 『高慢と偏見』1
3. 『高慢と偏見』2
4. 『高慢と偏見』3
5. 『高慢と偏見』4
6. 『高慢と偏見』5
7. 『高慢と偏見』6
8. 『高慢と偏見』7
9. 『高慢と偏見』8
10. 『高慢と偏見』9
11. 『高慢と偏見』10
12. 『高慢と偏見』11
13. まとめ

科目名	文化・文学・語学セミナー I	前期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学に見る結婚	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S30589 [LEH3-008]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	研究課題の発見と研究の実践	演習	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期で学んだ内容を参考に、各自、卒業論文につながる具体的な研究テーマを立てる。 各自の研究テーマに関連する文献を批判的に読む力を養う。 論文にふさわしい構成と表現を学び、自ら実践する。 課題を発見する力とそれに対して情報収集して分析する力、および問題を解決に導く力を養う。 <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、前期に学んだ内容を踏まえて自らが卒業論文で取り組みたい研究課題を立て、次年度の卒業論文執筆にむけた下準備を進める。そのために、研究に必要な文献の読み方、インタビューやコーパス等のデータベースをもとにした言語資料の収集方法を学び、入手した資料を客観的に分析する。自ら考察した内容は授業内で随時発表し、議論を通じて考察をさらに深める訓練を行ったうえで、説得力があり且つ論理的な構成を備えたレポートの形にまとめる。各自の研究テーマに沿って調査を進めるのと同時に、前期に引き続き教科書を用いながら、論文やレポートにふさわしい構成および文体についても学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習:教科書の該当箇所を精読しておく。発表担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。 復習:各回の授業で各自で発見した課題に取り組み、期末レポートに向けた調査を進めること。 ※各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに:前期の振り返り、後期の計画、発表担当の決定 研究テーマの発表・修正、研究計画の立案 必要な調査の検討と準備 教科書Ch.4、5「選ぶ一資料と方法」「確かめる一結果と分析」 調査の実施 調査結果の分析・考察 教科書Ch.6、7「裏付ける一考察」「まとめる一結論」 これまでの進捗報告会 論文の作成(1):構成の検討 教科書Ch.10「正確な言葉選び」 論文の作成(2):研究で明らかにしたい問い・関連する先行研究のレビュー 教科書Ch.11「正確な表記」 論文の作成(3):調査方法とその結果 教科書Ch.12「論文専用の表現」 論文の作成(4):考察 教科書Ch.13「論文の文体」 論文の作成(5):導入および結論の仕上げ ピアレビュー(受講生どうして論文を批判的に読み合う) これまでの研究内容の発表会 			

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	研究課題の発見と研究の実践	演習	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表に対するフィードバックは授業中におこなう。レポートは添削と講評を書いて返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 論文・レポートの基本 著者名:石黒圭 出版社:日本実業出版社 (978-4534049278)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に適宜紹介する。</p>			

S30604 [LEH3-009]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2単位
サブタイトル	「新しい女」の表象	演習	
担当者	野末 紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

後期では、「神経病の女」をめぐる当時の医学的言説の問題を確認したのち、「新しい女」が表象されたいくつかの短篇をトピックに分けて精読する。読解と考察を通じて、各自、卒論で取上げる作品をひろく探す一助としてほしい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してくること。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. 「神経病の女」にかんする医学的言説
2. 「新しい女」にかんする医学的言説
3. C・P・ギルマン「黄色い壁紙」——「病む女」(1)
4. C・P・ギルマン「黄色い壁紙」——「病む女」(2)
5. G・エジャートン「交差線」——「踊る女」
6. G・エジャートン「交差線」——「囁む女」
7. G・エジャートン「交差線」——母性をめぐる嫌悪と愛着
8. G・エジャートンの他の短篇——「釣りをする女」「街を歩く女」
9. O・ワイルド『サロメ』——「踊る女」
10. O・ワイルド『サロメ』——「囁む女」
11. O・シュライナーの短篇(1)
12. O・シュライナーの短篇(2)
13. まとめと展望、レポート作成のためのアドバイス

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	「新しい女」の表象	演習	
担当者	野末 紀之		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(20%)、授業中の発表(20%)、レポート(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] 資料配布(webへの掲載をふくむ)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S30605 [LEH3-009]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の味わい方について、作品を読んだり映画を見たりして考え、アメリカの文化や社会、歴史に親しむ。代表的なアメリカ文学作品を紹介し、さらに自分の選んだアメリカ文学の作品についてリサーチし発表しながら卒業論文のテーマを決める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 後期は選んだ作品に関してリサーチし論文の構成を決める。各回、予習復習あわせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. 後期の課題について説明 2. 選んだ作品について発表する/リサーチの方法 3. 選んだ作品についてテーマを決める/リサーチの方法 4. 選んだ作品についてテーマを決める/アメリカの文化・社会について考える 5. 互いの作品とテーマに関するディスカッションをする 6. 論文の構成について 7. 論文の構成について 8. 構成を決める 9. 構成を決める 10. 構成を決めて論文を書く 11. 構成を決めて論文を書く 12. 発表と批評 13. まとめ</p>			

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ演劇・アメリカ文化・アメリカの社会	演習	
担当者	坂元 敦子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み (30%)、授業中の発表 (30%)、レポート (40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内、マナバ等</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] 授業で指示します プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業で指示します</p>			

S30607 [LEH3-009]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

人魚というのはどういった生き物なのだろうか。ギリシャ神話やホメロスの『オデュッセイア』の中では、半人半鳥でセイレーンと呼ばれている。それは海岸に生息する生き物であることから時代を経て半身半魚の人魚へと形が変容していく。その特性として、美しい歌声をもって船員を惑わせ没我状態にし、船を遭難させたり、船員を海底まで引きずり込み、命を奪うことがあげられる。

人魚は人間とは違う異形の生き物である。この生き物が人間に恋愛感情を抱いた場合どうなるのだろうか？古来より語り継がれてきた人魚の物語は、悲劇で終わることと決まっていた。人魚は地上では生きれないし、人間は海中では生きれないのだ。有名なアンデルセンの「人魚姫」の末路は昔からの異類婚のむずかしさを踏襲している。

そんな悲恋、悲劇の物語をハッピーエンドの物語へと変えたのはディズニーである。このようにハッピーエンドに変えた理由は何か。またその終わり方によってこれまで語り継がれてきた視点がひっくり返されたことになる。そのことで何が得られ、何が失われたのだろうか。

20世紀以降も人魚は様々なかたちで描かれるようになった。なぜ私達はこの人魚という異形の生き物にこも惹きつけられるのだろうか？

授業では、まず人魚(セイレーン)の誕生の史的背景を踏まえ、アンデルセンやフーク、ジロウの物語への展開をたどる。そして『リトル・マーメイド(アニメ版)』(Little Mermaid)(1989)を取り上げ、それが30年を経て『リトル・マーメイド(実写版)』(2023)で軸軸は同じながらもその主題がどのように変化したかを考察する。さらに『バイレーツ・オブ・カリビアン/生命(いのち)の泉』(Pirates of the Caribbean: On Stranger Tides)(2011)を取り上げ、ファム・ファタールの側面を持つ人魚に焦点をあてて分析を試みる。いくなればこの作品に登場する人魚達が古典を正統に受け継いだものともいえる。さらに『崖の上のポニョ』(2008)や『シェイプ・オブ・ウォーター』(2017)というそれまでの人魚像をくつがえす存在の登場に時代の影響を見る。

他に参照するのは以下の映画である:『スプラッシュ』(1984)、『愛しのアクアマリン』(Aquamarine)(2006)、『PAN ～ネーバーランド、夢のはじまり～』(2015)、『ゆれる人魚』(2015)、『人魚姫』(2016)。こうした映画を通して人魚が現代人に訴えてくるものとは何なのかをみんなと考えていきたいと思う。なお同時に卒論に向けて論文の書き方の指導も行うので授業ではコンピュータも使用します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読しておくこと。

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. イントロダクション。
2. 人魚はどのようにして生まれたのか？
3. 人魚関連の映画を観て分析をする。
4. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
5. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
6. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
7. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
8. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
9. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
10. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
11. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
12. 映画の分析。ディスカッション。論文はどのようにして書くか。
13. 全体のとまとめ

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	人魚の物語—ギリシャ神話から最近の映画まで	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ドライブを共有設定にして課題をチェックし、レポート提出ごとに添削します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業時に指示する。</p>			

S30608 [LEH3-009]

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	卒論のテーマを見つける	演習	
担当者	西出 良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

専門分野の研究手法を理解し、関連する文献を読み込む能力を養い、卒業論文につながる研究テーマを見つけていく。

[授業概要]

各自が卒論で取り上げる作品を探す。

映画を見て面白そうと感じたら、最初は翻訳で良いのでその作品を最後まで読んでみる。そして、気になる点、面白いと思った点をノートに書き出してみ、四年時に作成する卒業論文の材料にする。時代背景を調べていくと、登場人物の行動やセリフに込められた新しい意味が浮かび上がり、なるほどそういうことか、という気づきが得られる。歴史も文化も社会も、日本とは大きく異なるイギリスだが、女や男が抱く希望、不安、喜び、悲しみは、私たちにも十分に理解・共感できる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の担当者はレジュメを用意し、指定された箇所の説明ができるように準備する。その他の受講者も指定された箇所を精読してこよう。※各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

1. フロンテ姉妹の男女(3)
2. ディケンズの男女(1)
3. ディケンズの男女(2)
4. ディケンズの男女(3)
5. ワイルドの男女(1)
6. ワイルドの男女(2)
7. ワイルドの男女(3)
8. ショーの男女(1)
9. ショーの男女(2)
10. チャーチルの男女(1)
11. チャーチルの男女(2)
12. ミュージカル
13. 児童文学

科目名	文化・文学・語学セミナーⅡ	後期	2 単位
サブタイトル	卒論のテーマを見つける	演習	
担当者	西出 良郎		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、授業中の発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題のフィードバックはmanabaを利用して行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み、授業中の発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S30609 [LEH3-009]

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲を事前に読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 19世紀の文学について(1)。 2. 19世紀の文学について(2)。 3. ジャズ・エイジについて。 4. ハーレム・ルネサンスについて。 5. ゾラ・ニール・ハーストンを中心に。 6. ネラ・ラーセンを中心に。 7. ロスト・ジェネレーションについて。 8. アーネスト・ヘミングウェイを中心に。 9. モダニズムの作家たちについて。 10. サザンルネサンスについて。 11. ウィリアム・フォークナーを中心に。 12. 危機の文学について。 13. 南部ゴシックについて。 			

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺田泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲を事前に読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 19世紀の文学について(1)。 2. 19世紀の文学について(2)。 3. ジャズ・エイジについて。 4. ハーレム・ルネサンスについて。 5. ゾラ・ニール・ハーストンを中心に。 6. ネラ・ラーセンを中心に。 7. ロスト・ジェネレーションについて。 8. アーネスト・ヘミングウェイを中心に。 9. モダニズムの作家たちについて。 10. サザンルネサンスについて。 11. ウィリアム・フォークナーを中心に。 12. 危機の文学について。 13. 南部ゴシックについて。 			

科目名	米文学史 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺田泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げる範囲のテキストの部分をおらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> ユダヤ系アメリカ作家について(1)。 ユダヤ系アメリカ作家について(2)。 アフリカ系アメリカ作家について(1)。 アフリカ系アメリカ作家について(2)。 劇作家について(1)。 劇作家について(2)。 中国系・日系アメリカ作家について(1)。 中国系・日系アメリカ作家について(2)。 ネイティブ・アメリカ作家について。 現代詩人について(1)。 現代詩人について(2)。 アメリカで花開いたミュージカルについて。 21世紀の作家について。 			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺門泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学の特色、その多様性を理解する。</p> <p>[授業概要] アメリカ文学の歴史は、ヨーロッパやアジアの文学の歴史を考えると短いものであるが、多くの移民が集まって成されてきた国であるということで多様性をその特徴とする。そしてそれゆえヨーロッパやアジアへ意識が強く向いている文学ともいえよう。またその広大な面積をもつアメリカという国は地域によってもさまざまな違いが見られ、それが多くの作家たちの作品にも反映されている。ピューリタニズム、トランセンデンタリズム、リアリズム、資本主義、モダニズム、ポストモダニズム、といったキーワードを参照しつつ、個々の作家の作品の世界を探っていきたいと思う。さらに文学を通じ、アメリカ人というものの、アメリカの歴史、思想、社会への見方も深めていってほしい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げる範囲のテキストの部分をあらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1. ユダヤ系アメリカ作家について(1)。 2. ユダヤ系アメリカ作家について(2)。 3. アフリカ系アメリカ作家について(1)。 4. アフリカ系アメリカ作家について(2)。 5. 劇作家について(1)。 6. 劇作家について(2)。 7. 中国系・日系アメリカ作家について(1)。 8. 中国系・日系アメリカ作家について(2)。 9. ネイティヴ・アメリカ作家について。 10. 現代詩人について(1)。 11. 現代詩人について(2)。 12. アメリカで花開いたミュージカルについて。 13. 21世紀の作家について。</p>			

科目名	米文学史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学の流れを知る	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『アメリカ文学案内』 著者名:寺門泰彦ほか 出版社:朝日出版社 (9784260000000)</p>			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲を読んできてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 ゴシック小説の誕生について 2 イギリスにおけるゴシック小説(1) 3 イギリスにおけるゴシック小説(2) 4 イギリスにおけるゴシック小説(3) 5 アメリカンゴシックが生まれた背景 6 インディアンが存在 7 ピューリタニズムの影 8 魔女狩り 9 コットン・マザー 10 フロンティアの恐怖 11 アメリカゴシック小説の誕生—チャールズ・ブロックデン・ブラウン 12 エドガー・アラン・ポー (1) 13 エドガー・アラン・ポー (2)</p>			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。</p> <p>[参考書(ISBN)] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9780000000000)</p>			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いうなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲を読んできてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 ゴシック小説の誕生について 2 イギリスにおけるゴシック小説(1) 3 イギリスにおけるゴシック小説(2) 4 イギリスにおけるゴシック小説(3) 5 アメリカンゴシックが生まれた背景 6 インディアンが存在 7 ピューリタニズムの影 8 魔女狩り 9 コットン・マザー 10 フロンティアの恐怖 11 アメリカゴシック小説の誕生—チャールズ・ブロックデン・ブラウン 12 エドガー・アラン・ポー (1) 13 エドガー・アラン・ポー (2)</p>			

科目名	米文学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。</p> <p>[参考書(ISBN)] 『21世紀から見るアメリカ文学史』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9780000000000)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いふならばアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。 2 ナサニエル・ホーソーン(1) 3 ナサニエル・ホーソーン(2) 4 ヘンリー・ジェイムズ(1) 5 ヘンリー・ジェイムズ(2) 6 南部ゴシックについて(1) 7 南部ゴシックについて(2) 8 南部ゴシックについて(3) 9 黒人ゴシックについて 10 女性ゴシックについて(1) 11 女性ゴシックについて(2) 12 モダン・ゴシックについて(1) 13 モダン・ゴシックについて(2)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。 著者名:</p> <p>[参考書(ISBN)] 『アメリカ文学案内』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9780000000000)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アメリカ文学をゴシックの視点から見る。</p> <p>[授業概要] ゴシック小説とは、古城、修道院、地下窟、墓地、廃墟といったいわゆるゴシック風の環境を背景とし超自然的な怪奇を扱い、殺人が起きたり、亡霊の出没する、人々に恐怖や不安を与える小説を初期の段階ではさしている。その代表的な作者としてAnn Radcliffe, Mary Shelley, Bram Stoker, Matthew Lewisが挙げられる。やがてイギリスではそうしたタイプのゴシック小説は廃れ、その流れはドイツやアメリカに移っていった。そしてイギリスのゴシック小説は、Charles Brockden Brownを介してアメリカへと広がっていく。Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Henry James, William Faulkner, Flannery O'Connor, Shirley Jackson, Richard Wright, Toni Morrison, Thomas Pynchon, Steven King, Anne Riceなど、広がりを見せ、アメリカ文学の中心的存在となっていたのである。そして、演劇や映画へも発展もみせている。いふなればアメリカ文学の主要な作家の多くがゴシック小説とかかわりをもっているのである。横断的に見ることにより、そのゴシック性の受け継がれを浮き彫りにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるテキストの範囲をあらかじめ読んでおいてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 イントロダクション。授業計画、成績評価方法等の説明。前期の復習。 2 ナサニエル・ホーソーン(1) 3 ナサニエル・ホーソーン(2) 4 ヘンリー・ジェイムズ(1) 5 ヘンリー・ジェイムズ(2) 6 南部ゴシックについて(1) 7 南部ゴシックについて(2) 8 南部ゴシックについて(3) 9 黒人ゴシックについて 10 女性ゴシックについて(1) 11 女性ゴシックについて(2) 12 モダン・ゴシックについて(1) 13 モダン・ゴシックについて(2)</p>			

科目名	米文学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカン・ゴシック入門	講義	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] リアクションペーパーに返答します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。 著者名:</p> <p>[参考書(ISBN)] 『アメリカ文学案内』 著者名:早瀬博範・吉崎邦子共編 出版社:英宝社 (9784270000000)</p>			

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[授業概要]

様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、ブログや手紙、Eメール、民話、伝記、様々な場所についての紹介文など様々な形態の英文を書く作業を行う。また、フォーマルな英文とそうでない英文の違いについても着目しながら英語を書く演習を行う。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

第1回:オリエンテーション、ブログの文面作成
第2回:ブログの文面作成 発表・討論と書き直し
第3回:旧友への手紙、Eメールの作成
第4回:旧友への手紙、Eメールの作成 発表・討論と書き直し
第5回:民話の作成
第6回:民話の作成 発表・討論と書き直し
第7回:民話について議論
第8回:学習した表現の復習、中間試験
第9回:自分の好きな場所についての紹介文作成
第10回:自分の好きな場所についての紹介文作成 発表・討論と書き直し
第11回:心配事の原因についての小論文作成
第12回:心配事の原因についての小論文作成 発表・討論と書き直し
第13回:まとめ
期末試験

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]

Effective Academic Writing 1 (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: By Alice Savage and Masoud Shafiei
出版社: Oxford University Press. (9780000000000)

[参考書 (ISBN)]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。

[授業概要]

様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、ブログや手紙、Eメール、民話、伝記、様々な場所についての紹介文など様々な形態の英文を書く作業を行う。また、フォーマルな英文とそうでない英文の違いについても着目しながら英語を書く演習を行う。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework.
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

第1回:オリエンテーション、ブログの文面作成
 第2回:ブログの文面作成 発表・討論と書き直し
 第3回:旧友への手紙、Eメールの作成
 第4回:旧友への手紙、Eメールの作成 発表・討論と書き直し
 第5回:民話の作成
 第6回:民話の作成 発表・討論と書き直し
 第7回:民話について議論
 第8回:学習した表現の復習、中間試験
 第9回:自分の好きな場所についての紹介文作成
 第10回:自分の好きな場所についての紹介文作成 発表・討論と書き直し
 第11回:心配事の原因についての小論文作成
 第12回:心配事の原因についての小論文作成 発表・討論と書き直し
 第13回:まとめ
 期末試験

科目名	Basic Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will submit a draft by email, which will be returned by the teacher with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will then submit a second draft for evaluation, which will be given by email and as oral comments to the group as a whole.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

Effective Academic Writing 1 (2nd Edition) Student Book with Online Practice 著者名: By Alice Savage and Masoud Shafiei

出版社: Oxford University Press. (9780190000000)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名: None 出版社: None

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] 様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、人物紹介文、物語、エッセー、有名な街の紹介文、親しい間柄のEメール、感謝を表すEメールなど様々な形態の英文を書く作業を行う。また、様々な語彙や表現を用いながら英語を書くことに重点を置く。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: 人物紹介作成 第2回: 人物紹介作成 発表・討論と書き直し 第3回: 物語作成 第4回: 物語作成 発表・討論と書き直し 第5回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 第6回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 発表・討論と書き直し 第7回: クラス内でのエッセー発表会 第8回: 学習した表現の復習、中間試験 第9回: 有名な街の紹介文作成 第10回: 有名な街の紹介文作成 発表・討論と書き直し 第11回: 親しい間柄のEメール作成 第12回: 親しい間柄のEメール作成 発表・討論と書き直し 第13回: まとめ 期末試験</p>			

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback on typed essays they write and will be asked to resubmit revised versions based on that feedback. Students will also be asked to do writing assignments in class where they will be required to send them in and get checked as well.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: book discussion, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: m-reader, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussions, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>[教科書(ISBN)] Effective Academic Writing 1 (Second Edition) 著者名: Alice savage and Masoud Shafiei 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0) American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 著者名: None 出版社: none</p>			

S30052 [LEH1-006]

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 様々な話題についての実践的な英作文能力を身に付ける。また、様々な研究テーマに沿った内容を英語で書くための基礎力を身に付ける。</p> <p>[授業概要] 様々な話題についての自らの考えを英文で表すための実践演習を行う。作文の題材はテキストに基づき、人物紹介文、物語、エッセー、有名な街の紹介文、親しい間柄のEメール、感謝を表すEメールなど様々な形態の英文を書く作業を行う。また、様々な語彙や表現を用いながら英語を書くことに重点を置く。作成した英文については、毎回、発表・討論を経て、書き直しを行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the notes and assignments from the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: 人物紹介作成 第2回: 人物紹介作成 発表・討論と書き直し 第3回: 物語作成 第4回: 物語作成 発表・討論と書き直し 第5回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 第6回: 特定の話題についての長所と短所を述べたエッセー 発表・討論と書き直し 第7回: クラス内でのエッセー発表会 第8回: 学習した表現の復習、中間試験 第9回: 有名な街の紹介文作成 第10回: 有名な街の紹介文作成 発表・討論と書き直し 第11回: 親しい間柄のEメール作成 第12回: 親しい間柄のEメール作成 発表・討論と書き直し 第13回: まとめ 期末試験</p>			

科目名	Basic Writing II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. ハリソン		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等)(10%), 英作文課題(60%), 中間試験 (15%), 期末試験 (15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will submit a draft by email, which will be returned by the teacher with comments, corrections and suggestions for second drafts. Students will then submit a second draft for evaluation, which will be given by email and as oral comments to the group as a whole.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

Effective Academic Writing 1 (Second Edition) 著者名: Alice savage and Masoud Shafiei 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472588-0)

American Headway 2: Workbook (Third Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)

[参考書(ISBN)]

なし 著者名: None 出版社: none

科目名	翻訳演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 字幕という字数の限られた翻訳を理解する。</p> <p>[授業概要] 英米を舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週取り上げるスクリプトの部分を事前に読み、辞書を引いておいてください。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。 2. 映画を見る。あらすじをたどる。 3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。 4. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。① 5. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。② 6. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③ 7. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④ 8. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤ 9. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥ 10. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦ 11. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧ 12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨ 13. 全体のまとめ</p>			

科目名	翻訳演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、課題(50%)、試験(20%)で評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 書かれた訳に誤訳があった場合、どこが間違っているかを指摘します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 著者名:なし。 出版社:x (x)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 著者名:x 出版社:x (x)</p>			

科目名	翻訳演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 字幕という字数の限られた翻訳を理解する。</p> <p>[授業概要] アメリカを舞台とした映画を題材に、そのスクリプトを読み、字幕翻訳の仕方を学ぶ。ナレーション、会話特有の表現にも留意し、作品の文化的歴史的背景も考慮しながら翻訳を試みる。また自分の翻訳と実際の字幕との違いについても考えてみる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次週扱う予定のスクリプトの範囲を読み、あらかじめ意味のわからない単語の意味を調べておいてください。各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(授業計画、成績評価方法の説明等)。スクリプト配布し、概要を説明する。 2. 映画を見る。あらすじをたどる。 3. 映画の歴史的・文化的背景を見る。登場人物に焦点を当てる。 4. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。① 5. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。② 6. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。③ 7. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。④ 8. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑤ 9. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑥ 10. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑦ 11. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑧ 12. 映画を英語字幕入りで見る。重要単語・表現・文法の解説。スクリプト部分の字幕翻訳を試みる。⑨ 13. 全体のまとめ 			

科目名	翻訳演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	字幕翻訳演習	演習	
担当者	木村 恵子		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み(30%)、課題(50%)、試験(20%)で評価。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 書かれた訳に誤訳があった場合、どこが間違っているかを指摘します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 著者名:x 出版社:x (x)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 著者名:x 出版社:x (x)</p>			

科目名	Media English I	前期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] おとぎ話の過去から現代への変容を知る。</p> <p>[授業概要] この授業では、ヨーロッパにおいて語り継がれたおとぎ話が現在どのように映画で表象されているかについて考察する。中心として扱うおとぎ話は、「白雪姫」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」である。授業では実際に映画を見て、時代を経るにつれ、おとぎ話がどのように変容していているかを理解してもらう。またディスカッションを通して他の学生の意見を聞くことによって自分の考えを深めてもらう。精神分析的視点、ジェンダー的視点、歴史的視点、カルチュラル的視点からの解説も行う予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回ノートを取り、ドライブに保存してください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「白雪姫」—グリム童話を読む。 2 「白雪姫」—アニメ映画を見て考察。 3 「白雪姫」—映画分析。グリム童話との比較。 4 「白雪姫」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 5 「白雪姫」—意志を持ち、戦う白雪姫の映画を見て考察。 6 「白雪姫」—映画分析。現代人の求める白雪姫象とは？ 7 「白雪姫」—ディスカッション。「シンデレラ」、「眠れる森の美女」との比較。 8 「白雪姫」—コメディタッチの映画を見て考察。 9 「白雪姫」—映画分析。現代人の求める白雪姫象とは？ 10 「白雪姫」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 11 「白雪姫」—「白雪姫」がベースになっている映画を見て考察。 12 「白雪姫」—映画分析。どういうモチーフが白雪姫と結びつけられるのか？ 13 「白雪姫」—ディスカッション。「シンデレラ」、「眠れる森の美女」との比較。 			

科目名	Media English I	前期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		

[成績評価方法]

授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

提出された課題に対して講評します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

科目名	Media English II	後期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] おとぎ話の過去から現代への変容を知る。</p> <p>[授業概要] この授業では、ヨーロッパにおいて語り継がれたおとぎ話が現在どのように映画で表象されているかについて考察する。中心として扱うおとぎ話は、「白雪姫」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」である。授業では実際に映画を見て、時代を経るにつれ、おとぎ話がどのように変容していているかを理解してもらう。またディスカッションを通して他の学生の意見を聞くことによって自分の考えを深めてもらう。精神分析的視点、ジェンダー的視点、歴史的視点、カルチュラル的視点からの解説も行う予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回ノートを取り、ドライブに保存してください。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画] 1 「シンデレラ」—アニメ映画を見て考察。 2 「シンデレラ」—映画分析。グリム童話ペローの童話との比較。 3 「シンデレラ」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 4 「シンデレラ」—実写映画を見て考察。 5 「シンデレラ」—映画分析。現代人の求めるシンデレラ象とは？ 6 「シンデレラ」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 7 「眠れる森の美女」—グリム童話、ペローの童話を読む。 8 「眠れる森の美女」—アニメ映画を見て考察。 9 「眠れる森の美女」—映画分析。グリム童話との比較。 10 「眠れる森の美女」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。 11 「眠れる森の美女」—ヴィランが主人公の映画を見て考察。 12 「眠れる森の美女」—映画分析。現代人の求めるオーロラ象とは？ 13 「眠れる森の美女」—ディスカッション。他のおとぎ話との比較。</p>			

科目名	Media English II	後期	2 単位
サブタイトル	映画で学ぶおとぎ話の深層	講義	
担当者	木村 恵子		

[成績評価方法]

授業への取り組み(30%)、レポート(70%)で総合的に評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

提出された課題に対して講評します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:英米3-2/英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[授業概要] この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション 第2回:Welcome to our worldの読解 第3回:Welcome to our worldについてのブックレポート発表 第4回:8 Unusual things successful people do every dayの読解 第5回:8 Unusual things successful people do every dayのブックレポート発表 第6回:8 Unusual things successful people do every dayの総括 第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験 第8回:Romeo and Julietの読解 第9回:Romeo and Julietのブックレポート発表 第10回:Romeo and Julietの総括 第11回:How Jake Knapp solved his problemの読解 第12回:How Jake Knapp solved his problemのブックレポート発表 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), Moodle Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法: book discussion, m-reader

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。
成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: class discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: class discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: class discussions

[教科書(ISBN)]

American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)

American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)

[参考書(ISBN)]

Graded Readers from the library 著者名: None 出版社: None

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	0	グループワーク	0
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。

[授業概要]

この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でも Oxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner.

各回、予習復習合わせて 2 時間程度

[授業計画]

第1回:オリエンテーション

第2回:Welcome to our worldの読解

第3回:Welcome to our worldについてのブックレポート発表

第4回:8 Unusual things successful people do every dayの読解

第5回:8 Unusual things successful people do every dayのブックレポート発表

第6回:8 Unusual things successful people do every dayの総括

第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験

第8回:Romeo and Julietの読解

第9回:Romeo and Julietのブックレポート発表

第10回:Romeo and Julietの総括

第11回:How Jake Knapp solved his problemの読解

第12回:How Jake Knapp solved his problemのブックレポート発表

第13回:まとめ

期末試験

科目名	Reading I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		

[成績評価方法]

授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), M-Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

Students will be given feedback on their homework and e-learning assignments a few weeks after completion. They are also required to read books and review several books of their choice, which will be given feedback at the end of the semester.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。

成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader

学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。

成績評価方法: book discussion, m-reader

学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。

成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: m-reader, assignments

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: class discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: class discussions

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: class discussions, book reviews

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: class discussions

[教科書 (ISBN)]

American Headway 2 (3rd Edition) Student Book with Oxford Online Skills 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press (9780194725880)

American Headway 2 (3rd Edition) Workbook with iChecker 出版社: Oxford University Press. (9780194725910)

[参考書 (ISBN)]

Graded Readers from the library

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[授業概要] この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] What to prepare before class- Review the notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in all assignments in a timely manner. 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、Life in 2065の読解 第2回:Life in 2065のブックレポート発表 第3回:Life in 2065の総括 第4回:My Kitchenの読解 第5回:My Kitchenのブックレポート発表 第6回:My Kitchenの総括 第7回:これまでのブックレポートの総括、中間試験 第8回:Singaporeの読解 第9回:Singaporeのブックレポート発表 第10回:Singaporeの総括 第11回:The three studentsの読解 第12回:The three studentsのブックレポート発表 第13回:まとめ 期末試験</p>			

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ロウ		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), Moodle Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will receive feedback in a number of ways. Firstly, they will be given feedback in person during lessons. They will also receive written feedback on writing assignments submitted on Manaba. In addition, they will receive comments and suggestions on videos that they submit using the "Flipgrid" online program. Students also give and receive feedback in group exercises with their classmates.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] American Headway 2 著者名: Jon and Liz Soares 出版社: Oxford University Press. (ISBN-10: 0194309223 ISBN-13: 978-0194309226) American Headway 2: Workbook (Third Edition) 著者名: by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] Graded Readers 著者名: None 出版社: None</p>			

S30031 [LEH1-004]

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	0	グループワーク	0
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 長文と短文のパッセージを含む英文教材の読解を通して、様々な英文を読み取る力や語彙力の充実を図る。</p> <p>[授業概要] この授業では、テキストに書かれた英文を読み、様々な内容理解の問題や活動を行うことで読解力を身に付ける。また、様々な語彙を理解し、学術的な内容も含む難易度の高い英文についても書かれている情報や筆者の主張などを読み取る力や文法・文構造の知識を身に付け、自ら英文を読み取る能力を育成する。さらに、授業外でもOxford Bookwormsシリーズ等の書籍を読み、ブックレポートの作成及びオンラインクイズに解答する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review notes and assignments of the previous week. Complete all homework. Turn in assignments in a timely manner.</p> <p>各回、予習復習合わせて 2 時間程度</p> <p>[授業計画] 第1回: オリエンテーション、Life in 2065の読解 第2回: Life in 2065のブックレポート発表 第3回: Life in 2065の総括 第4回: My Kitchenの読解 第5回: My Kitchenのブックレポート発表 第6回: My Kitchenの総括 第7回: これまでのブックレポートの総括、中間試験 第8回: Singaporeの読解 第9回: Singaporeのブックレポート発表 第10回: Singaporeの総括 第11回: The three studentsの読解 第12回: The three studentsのブックレポート発表 第13回: まとめ 期末試験</p>			

科目名	Reading II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. ファハード		
<p>[成績評価方法] 授業中の態度(ディスカッションへの参加等) (10%), 自宅課題(ブックレポート) (20%), M-Readerによるクイズ (30%), 中間試験 (20%), 期末試験 (20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Students will be given feedback on their homework and e-learning assignments a few weeks after completion. They are also required to read books and review several books of their choice, which will be given feedback at the end of the semester.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米1-1/社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。 成績評価方法: book discussion, book reviews, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米2-1/高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。 成績評価方法: book discussion, m-reader</p> <p>学科DP番号/DP内容: 英米3-1/高度な英語運用能力と専門的知識に基づき、社会に貢献しようとする責任感を持っている。 成績評価方法: m-reader tests, assignments, reading tests</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: m-reader, assignments</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussions, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: class discussion, book reviews</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: class discussions</p> <p>[教科書(ISBN)] American Headway 2: Student Book (3rd Edition) 著者名: John and Liz Soars 出版社: Oxford University Press (978-0-19-472588-0) American Headway 2: Workbook (Second Edition) by John and Liz Soars. 出版社: Oxford University Press. (978-0-19-472591-0)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			